

新・マスタープラン事業評価管理シート

令和3年度評価結果

令和4年10月

新潟市水道局

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-1	水源水質の監視	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	---------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	同一の水源を利用する水道事業体や関係機関と連携し、情報共有体制の構築や河川の水質調査を行うことにより、浄水処理への影響を未然に防ぎます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○水源の監視・調査 ・信濃川・阿賀野川両水系水質協議会（両水協）および水質汚濁対策連絡協議会と連携し水源監視を実施します。 ・灯油流出などの水源水質事故時の緊急連絡について、関係機関と情報共有を確実に実施します。（365日24時間） ・水道原水の共同調査を実施します（信濃川及び阿賀野川から取水する県内事業体の取水地点のうちで代表的な地点の河川水質を調査）。 ・浄水施設での対応が困難な物質を監視します。特に、水質基準外であっても人体に影響を及ぼすおそれがある項目を調査します。	○水源の監視・調査 ・信濃川・阿賀野川両水系水質協議会（両水協）および水質汚濁対策連絡協議会と連携し水源監視を実施します。 ・灯油流出などの水源水質事故時の緊急連絡について、関係機関と情報共有を確実に実施します。（365日24時間） ・水道原水の共同調査を実施します（信濃川及び阿賀野川から取水する県内事業体の取水地点のうちで代表的な地点の河川水質を調査）。 ・浄水施設での対応が困難な物質を監視します。特に、水質基準外であっても人体に影響を及ぼすおそれがある項目を調査します。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	1,174,000			1,174,700								
	執行額 (b)	1,174,000											
	執行率 (%) (b) / (a)	100%			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	120時間	120時間	100%	120時間								
	期間 (d) (従事期間)	12ヶ月	12か月		12か月								
	単位あたりの作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	10時間	10時間		10時間								
	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	・県内12水道事業体を会員として構成される両水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。 ・感染症の影響により、令和2年度は総会及び幹事会を书面で開催しました。両水協の事業運営に係る基本方針及び実施計画並びに予算の審議決定等を行い、水質異常が発生した場合に、影響を最小限とするための迅速かつ適切な対応をする準備を整えました。	・県内12水道事業体を会員として構成される両水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は、総会・第一回幹事会については書面で、第2回幹事会についてはWebで開催しました。両水協の事業運営に係る基本方針及び実施計画並びに予算の審議決定等を行い、水質異常が発生した場合に、影響を最小限とするための迅速かつ適切な対応をする準備を整えました。											
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~				予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	水源の監視及び調査		1点										
	平均 (A)		1.0点		平均 (A)				平均 (A)				平均 (A)

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度										
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点																	
河川水質事故による 水道水の影響	目標(B)	0%	目標(B)	0%	目標(B)	0%	0%	実績(D)	0%	達成度(D/B)	100%	3点	外的要因 加点	実績(D)	0%	達成度(D/B)	100%	3点	外的要因 加点					
	目標(C)	0%	目標(C)	0%	実績(E)	0%	達成度(D/B)	100%	3点	外的要因 加点	実績(E)	0%	達成度(D/B)	100%	3点	外的要因 加点	実績(E)	0%	達成度(D/B)	100%	3点			
	実績累計(C)	0%	実績累計(C)	0%	実績累計(E)	0%	進捗度(E/C)	100%	3点	外的要因 加点	実績累計(E)	0%	進捗度(E/C)	100%	3点	外的要因 加点	実績累計(E)	0%	進捗度(E/C)	100%	3点			
水道原水の水質調査	目標(B)	2回	目標(B)	2回	目標(B)	2回	2回	実績(D)	2回	達成度(D/B)	100%	3点	外的要因 加点	実績(D)	2回	達成度(D/B)	100%	3点	外的要因 加点	実績(D)	2回	達成度(D/B)	100%	3点
	目標(C)	2回	目標(C)	2回	実績(E)	2回	達成度(D/B)	100%	3点	外的要因 加点	実績(E)	2回	達成度(D/B)	100%	3点	外的要因 加点	実績(E)	2回	達成度(D/B)	100%	3点			
	実績累計(C)	2回	実績累計(C)	2回	実績累計(E)	2回	進捗度(E/C)	100%	3点	外的要因 加点	実績累計(E)	2回	進捗度(E/C)	100%	3点	外的要因 加点	実績累計(E)	2回	進捗度(E/C)	100%	3点			
浄水施設での対応が 困難な物質の監視	目標(B)	4回	目標(B)	4回	目標(B)	4回	4回	実績(D)	4回	達成度(D/B)	100%	3点	外的要因 加点	実績(D)	4回	達成度(D/B)	100%	3点	外的要因 加点	実績(D)	4回	達成度(D/B)	100%	3点
	目標(C)	4回	目標(C)	4回	実績(E)	4回	達成度(D/B)	100%	3点	外的要因 加点	実績(E)	4回	達成度(D/B)	100%	3点	外的要因 加点	実績(E)	4回	達成度(D/B)	100%	3点			
	実績累計(C)	4回	実績累計(C)	4回	実績累計(E)	4回	進捗度(E/C)	100%	3点	外的要因 加点	実績累計(E)	4回	進捗度(E/C)	100%	3点	外的要因 加点	実績累計(E)	4回	進捗度(E/C)	100%	3点			
	目標(B)		目標(B)		目標(B)			実績(D)		達成度(D/B)			外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)			外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)		
	目標(C)		目標(C)		実績(E)			実績(E)		進捗度(E/C)			外的要因 加点	実績(E)		進捗度(E/C)			外的要因 加点	実績(E)		進捗度(E/C)		
	実績累計(C)		実績累計(C)		実績累計(E)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			外的要因 加点	実績累計(E)		進捗度(E/C)			外的要因 加点	実績累計(E)		進捗度(E/C)		
	目標(B)		目標(B)		目標(B)			実績(D)		達成度(D/B)			外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)			外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)		
	目標(C)		目標(C)		実績(E)			実績(E)		進捗度(E/C)			外的要因 加点	実績(E)		進捗度(E/C)			外的要因 加点	実績(E)		進捗度(E/C)		
	実績累計(C)		実績累計(C)		実績累計(E)			実績累計(E)		進捗度(E/C)			外的要因 加点	実績累計(E)		進捗度(E/C)			外的要因 加点	実績累計(E)		進捗度(E/C)		

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・本事業の活動予算については、両水協負担金として新潟県内12水道事業体の有収水量に応じて案分された額が充てられています。共同調査、上流調査、技術研修会の開催など、同協議会の事業計画および年間予算については、両水協総会（毎年6月実施）で承認される事業です。感染症の影響により、会議費及び研修費等の決算額が予算額を下回りました。書面で開催した幹事会において、繰越金の増額を踏まえて、令和3年度の負担金を減額する案が承認されました。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・両水協の活動を通して、信濃川水系および阿賀野川水系で57件(例年100件程度)発生した水質事故について、事故発生時の迅速な連絡通報と関係機関との情報共有に努めることにより、水系全体の影響を未然に防ぎました。加えて、年次計画にある共同調査や特別調査を実施し、会員事業体の共益となる情報が得られました。 ・本市に直接影響する事業としては、秋葉区の朝日沈砂池からの油流出事故がありました。関係者と連携して必要な対応を実施しました。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

	維持			
【方向性】	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-2	水安全計画の充実・適切な運用	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	----------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	安全で良質な水道水を継続的に供給するために、水源からじゃ口までのすべての過程における一元的な水質管理を行う「水安全計画」を評価し、必要に応じて見直すことで計画の充実を図っていきます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○水安全計画の運用・評価 ・PDCAサイクルによる水安全計画の評価を毎年実施し、 必要に応じて適宜見直しを行います。	○水安全計画の運用・評価 ・PDCAサイクルによる水安全計画の評価を毎年実施し、 必要に応じて適宜見直しを行います。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			0								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	60時間	60時間	100%	60時間								
	期間 (d) (従事期間)	12ヶ月	12か月		12か月								
	単位あたり の作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	5時間	5時間		5時間								
	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	・毎年度末に水安全計画の運用について、事故等への対応状況の評価する妥当性の確認を行っています。 ・新たな管理基準値及び、異常時・緊急時対応マニュアルに従い、適切な運用をすることができました。	・毎年度末に水安全計画の運用について、事故等への対応状況の評価する妥当性の確認を行っています。 ・管理基準値及び、異常時・緊急時対応マニュアルに従い、適切な運用をすることができました。														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	水安全計画の評価・見直し		1点													
	平均 (A)	1.0点			平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)					

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
浄水場「水安全計画」の評価実施率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	-	-	-	-	-	-	3点										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・水安全計画実施に際しては特別の予算は計上していません。 なお、水安全計画の評価については、平成21年度の策定以来、運用状況を振り返りながら適宜見直しを進めるPDCAサイクルを確実に推進しています。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・新潟市内すべての浄水場において妥当性の確認作業を行いました。 ・水安全計画を着実に実行することによって、水源から給水栓に至るまでのリスクを未然に防止することができ、安全な水道水の安定供給が可能となっています。次年度以降は、より実効性の高い計画となるよう、随時見直ししていく予定です。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	経営審議会総評			経営審議会総評			経営審議会総評			経営審議会総評		
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。											

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I - 3	水質管理体制の強化	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-------	-----------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	水道GLP（水道水質検査優良試験所規範）を維持し、水質検査結果の精度と信頼性を確保します。 また、管末水質監視装置を拡充し、市全域での水質監視体制を強化します。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ○水道GLPの維持・更新 <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査機器の計画的な更新と更新計画の見直しを行います。 ・水道GLPの更新審査（4年毎）を受けます。 ○水質監視体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・主要な配水系統に管末水質監視装置を設置します。（増設・更新） ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・水質管理における人材育成と技術の継承を行います。 ・水質検査計画を策定し、検査計画及び検査結果を公表します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○水道GLPの維持・更新 <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査機器の計画的な更新と更新計画の見直しを行います。 ・水道GLPの更新審査（4年毎）を受けます。 ○水質監視体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・主要な配水系統に管末水質監視装置を設置します。（増設・更新） ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・水質管理における人材育成と技術の継承を行います。 ・水質検査計画を策定し、検査計画及び検査結果を公表します。 ・試験方法等の調査研究を実施します。 		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	77,252,630			75,387,820								
	執行額 (b)	70,661,884											
	執行率 (%) (b) / (a)	91.5%			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	120時間	120時間	100%	120時間								
	期間 (d) (従事期間)	12ヶ月	12か月		12か月								
	単位あたり の作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	10時間 (ア)	10時間 (イ)		10時間 (イ/ア)	10時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育訓練や水質検査機器の保守点検は毎年度当初に実施計画表を作成し、計画的に実施しており2022年2月にはGLP更新審査を予定しています。 ・水質管理技術については、引き続きOJT (On the Job Training) の確実な実施と効果が期待される業務ローテーションを実施しました。 ・令和2年度水質管理計画を検討し、今後求められる水道水質管理の考え方を取り入れた管理計画を策定し、1月に公表しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管末水質監視装置については予定どおり1台の設置が完了しました。 ・教育訓練や水質検査機器の保守点検は毎年度当初に実施計画表を作成し、計画どおりに実施しています。 ・コロナの影響で延期となっていたGLP更新審査については2022年8月を予定しています。 ・水質管理技術については、引き続きOJT (On the Job Training) の確実な実施と効果が期待される業務ローテーションを実施しました。 ・令和4年度水質管理計画を検討し、今後求められる水道水質管理の考え方を取り入れた管理計画を策定し、1月に公表しました。 														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	・水道GLPの維持・更新		1点													
	・人材育成及び技術継承		1点													
	平均 (A)		1.0点		平均 (A)				平均 (A)				平均 (A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
検査機器の 保守点検実施率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	100%	100%	3点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点									
管末水質監視装置 設置数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	1台	1台	2台	2台	1台	100%	3点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
教育訓練実施率 (訓練実施回数/ 予定訓練回数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
水質検査結果の Web公表回数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	12回	12回	12回	12回	12回	100%	3点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
								実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・GLP認定維持に係る予算については適切に執行されました。 ・水道異物分析方法をSEM/EDS法へ完全移行したことに伴い、ICP分析装置を廃止したため、これに係る修繕費用が抑えられました。 ・水質管理における人材育成・技術の継承については、主にOJTにより進めていることから特別の予算は計上していません。 											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・GLP認定を維持しているということは、本市の水質検査が一定水準以上の技術力を確保し、その検査精度について第三者機関により客観的に保証されるということです。水道水の安全性保証を確実にすることは、本市新・マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。 ・水質管理における人材育成・技術の継承にあたっては、分析技術の計画的な習得を進め教育訓練を着実に実施することで、その成果を現場に反映できるよう努めています。 											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	経営審議会総評				
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-4	新潟市独自の管理目標による水質管理	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	-------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	国が定める水質基準値等より厳しい、本市独自の「安全性とおいしさの基準」である管理目標値を設定し、より安全でおいしい水道水の供給に取り組んでいます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画（予定）	令和3年度 ○独自管理目標による水質管理 ・農薬類，総トリハロメタン，残留塩素，臭気強度について独自の管理目標値により管理を行います。 ・必要に応じて独自管理目標値の見直しを行います。	令和4年度 ○独自管理目標による水質管理 ・農薬類，総トリハロメタン，残留塩素，臭気強度について独自の管理目標値により管理を行います。 ・必要に応じて独自管理目標値の見直しを行います。	令和5年度	令和6年度

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	35,755,500			47,272,500								
	執行額 (b)	27,253,710											
	執行率 (%) (b) / (a)	76.2%			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	120時間	120時間	100%	120時間								
	期間 (d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月		12ヶ月								
	単位あたりの作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	10時間 (ア)	10時間 (イ)		10時間 (イ/ア)	10時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	・令和2年度については、残留塩素管理目標達成率が目標を下回りましたが、他の項目については目標を達成できました。 ・残留塩素管理については、8月～9月の高水温の影響で塩素注入率が上がり、達成率が下がりました。各浄水場の給水区域の特性を評価し、管網末端における消毒効果を確保しつつ浄水場出口の残留塩素濃度を低く抑える取り組みを進め、水質管理体制の強化を図っていきます。	・令和3年度については、残留塩素管理目標達成率が目標を下回りましたが、他の項目については目標を達成できました。 ・残留塩素管理については、夏季（猛暑）の気温上昇に伴う管末での残塩低下により残塩管理式を引き上げたため目標値を超える地点が多くなりました。 ・各浄水場の配水区域の特性を評価し、管網末端における消毒効果を確保しつつ浄水場出口の残留塩素濃度を低く抑える取り組みを進め、水質管理体制の強化を図っていきます。														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
	・独自管理目標による水質管理		1点													
	平均 (A)	1.0点			平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)					

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
農業濃度 管理目標達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	-	-	-	-	-	-	3点	0点								
総トリハロメタン濃度 管理目標達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	-	-	-	-	-	-	3点	0点								
残留塩素 管理目標達成率	91%	91%	91%	92%	90%	98.9%	3点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	-	-	-	-	-	-	3点	0点								
臭気強度 管理目標達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	-	-	-	-	-	-	3点	0点								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	-	-	-	-	-	-										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
<p>【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。</p>	<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給するために、浄水場と連携し粉末活性炭処理を実施することにより、目標値を概ね達成できました。 ・令和3年度は、秋葉区の朝日沈砂池からの油流出事故があり、活性炭を多く使用しましたが、購入単価の低下により費用が抑えられました。</p>											
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
<p>【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。</p>	<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給する取組みは、本市マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠です。ただし、活性炭の注入率と注入手法については浄水費の増加と関連することから、今後とも調査研究を進めます。</p>											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	経営審議会総評			経営審議会総評			経営審議会総評			経営審議会総評		
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。											

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-5	分かりやすい水質情報の提供	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	---------------	-----	-------

①事業概要							
【事業の目的】		安全でおいしい水や災害時での水の安定供給など、多様化するお客さまのニーズに対し、水道水をおいしく飲める啓発活動やニーズにあった情報提供などを行い、水道水に対する信頼性を高めます。					
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画（予定）	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ○啓発活動の継続・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ろ過実験やきき水を実際に体験してもらうことで、水道水質への理解を深める「体験型広報」については、感染症の状況を見極め、実施可能か判断します。 ・小学校向けプレゼンテーションのスキルアップを図ります。 ○分かりやすい情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・最新の情報やデータを盛り込んだパンフレット等を作成します。 ・水質管理に関する情報提供のツールとしてインターネットを活用します。 ・小学生向け説明補助資料を充実させます。 		<ul style="list-style-type: none"> ○啓発活動の継続・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ろ過実験やきき水を実際に体験してもらうことで、水道水質への理解を深める「体験型広報」については、感染症の状況を見極め、実施可能か判断します。 ・小学校向けプレゼンテーションのスキルアップを図ります。 ○分かりやすい情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・最新の情報やデータを盛り込んだパンフレット等を作成します。 ・水質管理に関する情報提供のツールとしてインターネットを活用します。 ・小学生向け説明補助資料を充実させます。 				

②過程													
【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	334,070			335,170								
	執行額 (b)	206,030											
	執行率 (%) (b) / (a)	61.7%			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	120時間	90時間	75.0%	120時間								
	期間 (d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月		12ヶ月								
	単位あたりの作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	10時間 (ア)	7.5時間 (イ)	(イ/ア)	10時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価														
■結果・効果														
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症防止のため、例年実施していた「簡易ろ過実験」「臭気検査」「きき水体験」などの体験型広報は、実施しませんでした。 ・小学生向けプレゼンテーションの資料を見直し、水質管理について理解を深めてもらうための広報活動の準備を整えました。 ・パンフレットについては、感染症の影響により配布の機会がなくなったため、作成しませんでした。 ・本市ホームページにおいて、マンガやイラストを活用した水質検査結果の公表により、わかりやすい広報に努めました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・感染者数が減少した期間に、感染症対策を講じたうえで「簡易ろ過実験」を1回実施しました。 ・感染症防止のため、例年実施していた「臭気検査」「きき水体験」などの体験型広報は、実施できませんでした。 ・小学生向けプレゼンテーションの資料を見直し、水質管理について理解を深めてもらうための広報活動の準備を整えました。 ・パンフレットについては、最新の情報やデータを盛り込んだものに刷新しました。 ・本市ホームページにおいて、マンガやイラストを活用した水質検査結果の公表により、わかりやすい広報に努めました。 											
			予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~									
					0点									
				1点										
				平均 (A)	0.5点	平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
体験型広報 年間実施数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	12回	12回	12回	12回	1回	8.3%	1点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	-	-	-	-	-	-	1点										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	-	-	-	-	-	-											
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	-	-	-	-	-	-											
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											
	-	-	-	-	-	-											
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											
	-	-	-	-	-	-											

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・入札により、水源保全および水質管理センターPRパンフレット作成業務に係る費用を抑えることができたため、予算効率が向上しました。 ・また、水源保全および水質管理センターPRパンフレットの構成を見直しました。 ・昨年度に引き続き、感染症防止のため、「臭気検査」「きき水体験」などは実施できませんでした。 ・感染者数が減少した時期に、「簡易ろ過実験」を1回実施できました。 											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の充実については、今後当局として取組んでいくべき重要課題です。水質管理に精通した職員が水道水の安全性を分かりやすく広報することにより、お客さまが抱く水質的不安感を払拭し、本市新・マスタープランの理念を実現することが可能となります。感染症の影響を見極め、広報活動が実施可能か判断し、水道水質の理解を深めてもらう取り組みに努めていきます。 											
評価結果	達成度	1点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	1点	D	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	1点	3点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④2次評価結果

	維持			
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	<p>引き続き、計画に沿って事業を推進すること。ただし、コロナ禍が長期化する現状において、当初計画通りの実施が困難だった事業については、感染症流行下における事業継続に十分に配慮しつつ、状況を見て実施できるものから実施したり、代替手段を講じるなどの工夫を、必要に応じて検討すること。</p>			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	II	給水装置における水質保持	事業・取組名	II - 1	学校施設の水飲み水栓の直結給水化	所管課	管路課
----	----	--------------	--------	--------	------------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	じゃ口から水を飲むという水道の文化を引き継ぎ、次世代を担う子供たちが水道水のおいしさをより実感できるよう、小中学校の水飲み水栓の直結給水化に取り組みます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画（予定）	令和3年度 ○教育委員会と連携 ・新潟市学校施設整備指針に基づき、小中学校における大規模改修計画に併せ、教育委員会と連携し、水飲み水栓の直結給水化を促進していきます。	令和4年度 ○教育委員会と連携 ・新潟市学校施設整備指針に基づき、小中学校における大規模改修計画に併せ、教育委員会と連携し、水飲み水栓の直結給水化を促進していきます。	令和5年度	令和6年度

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			0								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	1回	2回	200%	1回								
	期間 (d) (従事期間)	1年	1年		1年								
	単位あたりの作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	1回/年 (ア)	2回/年 (イ)		1回/年 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	教育委員会との協議 協議実施回数 3回 教育委員会との協議及び情報収集から、大規模改修計画に基づく直結化実施予定校の確認を行いました。 また、大規模改修計画以外の工事（貯水槽入替等）で直結給水化が図られるか確認を行い、財政面から現在の計画に基づき進めることを確認しました。	教育委員会との協議 ・協議実施回数 2回 ・教育委員会との協議及び情報収集から、大規模改修計画に基づく直結化実施予定校の確認を行いました。 ・大規模改修計画以外の工事（貯水槽入替等）で直結給水化が図られるか確認を行い、財政面から現在の計画に基づき進めることを確認しました。														
	学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 66.1 % 市立学校施設数 177校（開校により1校増） 直結化した学校数 117校（開校により1校増）	学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 66.7 % 市立学校施設数 177校 直結化した学校数 118校														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		教育委員会との協議	2点													
		平均 (A)	2.0点			平均 (A)				平均 (A)				平均 (A)		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
学校施設の水飲み 水栓の直結給水化率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	66.7%	100%	3点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	66.7%	66.7%	66.7%	67.8%	66.7%	100%	3点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・2回にわたり、教育委員会との協議及び情報共有を図り、今後の改修予定校を確認しました。 ・その他施設の工事（貯水槽入替、修繕等）に合わせた、直結給水化について協議を進めましたが、厳しい財政事情もあり、実施には至りませんでした。 ・本取り組みについては、事業の性質上、予算計上及び執行はありません。 											
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は潟東中学校の直結給水化が図られ、目標を達成することができました。 ・引き続き、教育委員会との協議及び情報共有を図り、双方共通の認識で取組を進めています。 											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	経営審議会総評				
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	II	給水装置における水質保持	事業・取組名	II-2	貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	所管課	管路課
----	----	--------------	--------	------	---------------------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	貯水槽水道利用者へ安全でおいしい水道水が供給されるよう、訪問指導等の強化により、貯水槽の清掃率向上に向けた積極的な啓発活動を行います。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ○民間清掃業者との連携 ・民間清掃業者との連携による啓発活動を行います。 ○衛生管理訪問指導の実施 ・貯水槽施設衛生管理訪問指導（過去1年以上清掃報告の無い施設を対象に、訪問・電話指導）を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民間清掃業者との連携 ・民間清掃業者との連携による啓発活動を行います。 ○衛生管理訪問指導の実施 ・貯水槽施設衛生管理訪問指導（過去1年以上清掃報告の無い施設を対象に、訪問・電話指導）を実施します。 		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	3,853,000			3,948,080								
	執行額 (b)	3,725,002											
	執行率 (%) (b) / (a)	96.7%			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	0.3人	0.3人	100%	0.3人								
	期間 (d) (従事期間)	1年	1年		1年								
	単位あたり の作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	0.3人/年 (ア)	0.3人/年 (イ)		0.3人/年 (イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	民間清掃業者との連携 貯水槽清掃強化月間での取組案を基に、業界団体との協議を実施し、業界団体総会での啓発活動を予定しましたが、コロナウイルス蔓延防止の一環として、総会が中止となったため、連携の具体化には至りませんでした。令和3年度についても協議を継続し、総会での啓発活動の実施に向けて取り組みます。	民間清掃業者との連携 ・貯水槽清掃強化月間での取組案を基に、業界団体との協議を実施し、業界団体総会での啓発活動を予定しましたが、コロナウイルス蔓延防止の一環として、総会が中止となったため、連携の具体化には至りませんでした。令和4年度についても協議を継続し、総会での啓発活動の実施に向けて取り組みます。 衛生管理訪問指導の実施 ・(公財) 新潟水道サービスへ貯水槽施設衛生管理指導業務を委託し、過去1年以上清掃報告の無い小規模貯水槽水道施設150件を対象に、訪問・電話指導を実施しました。											
	衛生管理訪問指導の実施 (公財) 新潟水道サービスへ貯水槽施設衛生管理指導業務を委託し、過去1年以上清掃報告の無い小規模貯水槽水道施設150件を対象に、訪問・電話指導を実施しました。												
	民間清掃業者との連携			0点									
	衛生管理訪問指導の実施	2点											
	平均 (A)	1.0点			平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
貯水槽清掃実施率 (簡易専用水道)	93.9%	94.0%	94.2%	94.4%	96.3%	102.6%	4点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	-	-	-	-	-	-	4点	0点								
貯水槽清掃実施率 (小規模貯水槽水道)	66.2%	66.3%	66.4%	66.5%	71.2%	107.6%	4点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	-	-	-	-	-	-	4点	0点								
貯水槽清掃実施率 (全体)	77.5%	77.6%	77.8%	78.0%	81.6%	105.3%	4点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	-	-	-	-	-	-	4点	0点								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き未清掃の小規模貯水槽施設に対する衛生管理訪問指導を委託し実施しました。 限られた人員体制の中で、効率よく指導強化を進めました。 											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 全体の貯水槽清掃率は、目標値を4.1ポイント上回りました。 引き続き高い清掃率を達成できたことは、訪問・電話指導の充実・強化の効果が一因と考えます。 清掃実施率の値は上下を繰り返しており、今後も清掃実施に係る啓発活動を実施する必要があります。 											
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	経営審議会総評				
	高い清掃率を維持するために、引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				

新・マスタープラン事業評価管理シート

施 策	Ⅱ	給水装置における水質保持	事業・取組名	Ⅱ - 3	指定給水装置工事事業者の技術力向上	所管課	管路課
-----	---	--------------	--------	-------	-------------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	指定給水装置工事事業者の技術力向上により、工事の品質確保やお客さまとのトラブルの未然防止を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ○（公社）日本水道協会新潟県支部が主催する講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し <ul style="list-style-type: none"> ・指定給水装置工事事業者講習会への参加を積極的に働きかけます。 ・講習会事務局として、適切な施工確保に向けた講習内容の見直しを適宜行います。 ○給水装置工事の適切な評価と表彰制度の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・指定給水装置工事事業者の意欲の向上を図るため、表彰制度を継続します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○（公社）日本水道協会新潟県支部が主催する講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し <ul style="list-style-type: none"> ・指定給水装置工事事業者講習会への参加を積極的に働きかけます。 ・講習会事務局として、適切な施工確保に向けた講習内容の見直しを適宜行います。 ○給水装置工事の適切な評価と表彰制度の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・指定給水装置工事事業者の意欲の向上を図るため、表彰制度を継続します。 		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	371,500			359,750								
	執行額 (b)	241,508											
	執行率 (%) (b) / (a)	65.0%			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	0.2人	0.2人	100%	0.2人								
	期間 (d) (従事期間)	1年	1年		1年								
	単位あたりの 作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	0.2人/年 (ア)	0.2人/年 (イ)		0.2人/年 (イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・令和2年度は、コロナウイルス感染症拡大防止を理由に、講習会開催が叶わず、代替策として、自主学習テキストを全事業者に配布のうえ、回答のあった事業者を受講者として認定する方法により実施しました。新たな取り組みに対する事業者への周知が不十分だったことや、受講動機がでなかったなどの要因もあり、目標にはやや到達しませんでした。 ・適切な給水装置工事の施工技術確保に向け、自主学習用資料を修正しました。	講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・令和3年度は、コロナウイルス感染症拡大防止を理由に、講習会開催が叶わず、代替策として、自主学習テキストを全事業者に配布のうえ、回答のあった事業者を受講者として認定する方法により実施しました。通常と異なる方法にもかかわらず目標を達成することができました。 ・適切な給水装置工事の施工技術確保に向け、自主学習用資料を修正しました。 給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術向上及び意欲高揚を目的とした優良工事店表彰を実施しました。(19件：19社)											
	・適切な給水装置工事の施工技術確保に向け、自主学習用資料を修正しました。		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術向上及び意欲高揚を目的とした優良工事店表彰を実施しました。(19件：18社)	講習会参加要請、講習内容の適宜見直し		1点									
		指定給水装置工事事業者表彰の実施		1点									
		平均 (A)	1.0点			平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
給水装置に係る事故 件数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	0件	0件	0件	0件	0件	100%	3点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
指定給水装置工事 事業者講習会 参加率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	79.2%	79.5%	79.7%	80.0%	80.6%	101.8%	4点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・指定給水装置工事事業者講習会に代わる自主学習テキストの郵送に際しては、指定工事事業者の施工技術向上に資するべく、最新の情報を盛り込んで作成しました。 ・優良工事店表彰については、コロナウイルス感染防止対策の観点から、表彰式は例年のような集合形式ではなく個別対応とし、施工内容が優れた工事事業者19社に対し、実施しました。 なお、表彰式の実施形態が変更となったことにより、予算執行額は減少しました。											
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・講習会や表彰制度にあつては、業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を図ることを目的に実施しており、これらの取り組みは給水装置工事における事故防止にも繋がります。 よって当該取組は、今後も継続的に実施していきます。											
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	経営審議会総評				
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				

新・マスタープラン事業評価管理シート

施 策	Ⅲ	水道施設の計画的更新	事業・取組名	Ⅲ - 1	浄配水施設の計画的更新	所管課	計画整備課
-----	---	------------	--------	-------	-------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	浄水処理・送配水機能の信頼性と安定性を維持していくため、老朽化した設備を計画的に更新するとともに、水需要の減少を踏まえて設備能力を見直し、施設規模の適正化を図ります。また、更新に併せて、環境負荷の低減や維持管理性の向上に配慮した整備を進めます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度 ○浄水場毎に実施する大規模な整備事業を中心に、各施設の老朽化した設備を更新します。 【青山浄水場施設整備事業】 令和3～令和6年度 【個別整備】各施設の経年劣化した個別の設備状況に合わせ、計画的な更新及び施設整備を実施 【設計業務】今後の施設整備に向けた設計業務	令和4年度 ○浄水場毎に実施する大規模な整備事業を中心に、各施設の老朽化した設備を更新します。 【青山浄水場施設整備事業】 令和3～令和6年度 【巻取水場施設整備事業】 令和4～令和6年度 【個別整備】各施設の経年劣化した個別の設備状況に合わせ、計画的な更新及び施設整備を実施 【設計業務】今後の施設整備に向けた設計業務	令和5年度	令和6年度

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	513,845,000			961,960,000								
	執行額 (b)	303,018,000											
	執行率 (%) (b) / (a)	59.0%			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c)	6.30人	6.30人	100%	5.76人								
	担当者数				1年								
	期間 (d)	1年	1年		1年								
	対応期間												
単位あたりの作業量 (c/d)	6.30人/年	6.30人/年		5.76人/年									
対応期間あたり従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	◆配水場施設整備事業（事業完了） ・監視制御設備更新工事（竹尾、南浜、内島見、内野） ・遠方監視制御設備機能増設工事（南浜） ・監視制御設備機能増設工事（内野） ・電気設備更新工事（南浜） ・配水ポンプ電気設備更新工事（内島見） ・ポンプ設備更新工事（南浜、内島見） ・緊急遮断弁機能増設工事（内野） ◆経年劣化した設備の個別整備 ◆各施設整備に向けた設計業務	◆青山浄水場施設整備事業 ・受変電設備更新工事（契約） ・電気計装設備更新工事（契約） ・配水ポンプ設備更新工事（契約） ◆経年劣化した設備の個別整備 ◆各施設整備に向けた設計業務														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
	青山浄水場施設整備事業		1点													
	平均 (A)	1.0点			平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)					

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
青山浄水場 施設整備事業	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	実施	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
巻取水場 施設整備事業	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	実施	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	◆青山浄水場施設整備事業 受変電設備更新工事、電気計装設備更新工事、配水ポンプ設備更新工事を計画通りに発注し、工事に着手しました。 ◆経年劣化した設備の個別整備 計画的に工事を進めています。 ◆各施設整備に向けた設計業務 計画的に設計業務を進めています。											
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・水需要の減少を踏まえた施設規模の適正化を図るとともに、浄配水場施設の信頼性と安定性を維持していくため、老朽化した設備を計画的かつ効率的に更新する必要があります。 ・令和3年度から着手しました青山浄水場施設整備事業は稼働施設の安全確保を最優先として、計画通りの確実な施工管理を行います。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④2次評価結果

	維持			
【方向性】	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	予算規模が大きく、浄配水施設は水道システムの根幹をなすものであることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施 策	Ⅲ	水道施設の計画的更新	事業・取組名	Ⅲ - 2	管路施設の計画的更新	所管課	計画整備課
-----	---	------------	--------	-------	------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	漏水事故の未然防止を図り、安定給水を確保するため、アセットマネジメント手法を取り入れ、更新周期を設定し、老朽化した管路施設（基幹管路・配水支管）を中心に計画的に更新します。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ○基幹管路更新事業 <ul style="list-style-type: none"> ・基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度32.8 k m 令和3年度 1,500m（後期実施計画より） ○配水支管更新事業 <ul style="list-style-type: none"> ・年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度 132.3 k m 令和3年度 11,100m（後期実施計画より） 	<ul style="list-style-type: none"> ○基幹管路更新事業 <ul style="list-style-type: none"> ・基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度32.8 k m 令和4年度 2,400m（後期実施計画より） ○配水支管更新事業 <ul style="list-style-type: none"> ・年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度 132.3 k m 令和4年度 10,600m（後期実施計画より） 		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	6,344,500,000			6,936,000,000								
	執行額 (b)	4,917,126,061											
	執行率 (%) (b) / (a)	77.5%			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c)	34.80人	34.68人	99.7%	35.00人								
	担当者数												
	期間 (d)	1年	1年		1年								
対応期間													
単位あたりの作業量 (c/d)	34.80人/年	34.68人/年		35.00人/年									
対応期間あたり従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	◆工事発注延長 (注) 基幹管路更新事業 更新延長 3,897m 4,600m (予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 12,884m 11,570m (予算時計画長) ※既設管路ルートでの更新が困難なため、別 ルートによる更新を行った結果、延長が増減して います。	◆工事発注延長 (注) 基幹管路更新事業 更新延長 3,314m 2,155m (予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 13,767m 11,977m (予算時計画長) ◆工事竣工延長 (前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 2,484m 配水支管更新事業 更新延長 13,718m											
	◆工事竣工延長 (前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 4,830m 配水支管更新事業 更新延長 11,938m	(注)：事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理 しています。											
	(注)：事業の進捗は、工事の発注延長により 計画管理しています。		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		基幹管路更新事業	2点										
		配水支管更新事業	2点										
		平均 (A)	2.0点			平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
基幹管路更新延長 ※評価指標の延長は発注延長(計画値)を使用	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	1,500m	2,400m	2,700m	2,700m	3,314m	220.9%	5点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
配水支管更新延長 ※評価指標の延長は発注延長(計画値)を使用	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	11,100m	10,600m	10,700m	10,200m	13,767m	124.0%	5点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・新・マスタープラン後期実施計画の見直しにより、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化しています。 ・試掘などの事前調査を実施し、計画の実現性を高めたことで、目標の事業量を効率的に達成することができました。											
評価結果	予算効率	5点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	A	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	9点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・新・マスタープラン後期実施計画の見直しにより、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化することで、漏水事故の未然防止を図りました。 ・今後も事前調査に取り組み、計画の実現性を高めることで事業を確実に進めていきます。											
評価結果	達成度	5点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	5点	A	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	10点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	経営審議会総評				
	予算規模が大きく、管路施設は水道システムの根幹をなすものであることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。				

新・マスタープラン事業評価管理シート

施 策	Ⅲ	水道施設の計画的更新	事業・取組名	Ⅲ - 3	鉛給水管の計画的更新	所管課	管路課
-----	---	------------	--------	-------	------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	鉛給水管を更新し給水管の耐震化および漏水の未然防止を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○鉛給水管の更新 ・鉛給水管が分岐している配水支管（小口径：主に口径50mmのビニル管、鋼管）の更新により効果的に鉛給水管の解消を図ります。また、戸別の鉛給水管の更新は鉛管使用密度の高い地域から解消していきます。	○鉛給水管の更新 ・鉛給水管が分岐している配水支管（小口径：主に口径50mmのビニル管、鋼管）の更新により効果的に鉛給水管の解消を図ります。また、戸別の鉛給水管の更新は鉛管使用密度の高い地域から解消していきます。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	418,680,000			397,748,000								
	執行額 (b)	388,418,380											
	執行率 (%) (b) / (a)	92.8%			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	8.3人	11.7人	141.0%	8.5								
	期間 (d) (従事期間)	1年	1年		1年								
	単位あたり の作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	8.3人/年 (ア)	11.7人/年 (イ)	(イ/ア)	8.5人/年 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	施策	当初見込	更新数	実施率	施策	当初見込	更新数	実施率												
	① 小口径管鉛給水管更新 (ガス競合)	210	129	61.4%	① 小口径管鉛給水管更新 (ガス競合)	70	78	111.4%												
	① 小口径管鉛給水管更新 (局単独)				① 小口径管鉛給水管更新 (局単独)															
	① 連合給水管更新 小計	210	129		① 連合給水管更新 小計	70	78													
	② 地工事給水管更新 給水管更新(局単独)	626	368	58.7%	② 地工事給水管更新 給水管更新(局単独)	616	378	61.3%												
	② マスター取替更新 給水管工事	310	472	152.3%	② マスター取替更新 給水管工事	300	586	195.3%												
	② 給水管工事 小計	936	840	89.7%	② 給水管工事 小計	916	964	105.2%												
	計	1,146	969	84.6%	計	986	1,042	105.7%												
	鉛製給水管率 4.8%																			
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
① 4条予算事業	2点																			
② 3条予算事業	2点																			
平均 (A)	2.0点				平均 (A)					平均 (A)				平均 (A)						

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点										
鉛給水管率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	4.3%	4.0%	3.6%	3.3%	4.5%	95.4%	3点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)				実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	-	-	-	-	-	-	3点	0点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											
							0点										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											
							0点										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											
							0点										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											
							0点										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・鉛給水管の更新は、他工事と併せ実施することによる費用の縮減や、鉛管密度の高い地域から更新を進めることで効率化を図っていますが、労務費や諸経費率等の工事費用の高騰に加え、鉛管設置場所が見込以上に分散していたことに伴う鉛管密度低減のため、平成30年度から検定満期メータの取替に併せ、鉛給水管の更新を行う取り組みを実施しています。											
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・鉛給水管の更新は漏水事故の未然防止や有収率向上の観点から継続して実施する必要があることから、引き続き他工事関連や、小口径老朽管（主に口径50mmのビニール管、銅管）の解消を推進するとともに、戸別の鉛給水管は鉛管密度の高い地域から解消を進めます。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	経営審議会総評				
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV-1	浄配水施設の計画的耐震化	所管課	計画整備課
----	----	------------	--------	------	--------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	大規模地震が発生した場合でも、影響を最小限にとどめ、水道システムとして機能を損なうことのないよう、浄配水施設整備に併せ、効率的に浄配水施設等の耐震化を進めます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	【土木構造物】・青山浄水場配水池(令和6年度完了予定) ・長峰配水場配水池(令和3年度完了予定) 【構内水管】・青山浄水場構内水管(令和6年度完了予定) 【設計業務】今後の耐震化に向けた設計業務 耐震実施予定8施設 平成27～令和6年度※下線は完了 青山浄水場(配水池、洗浄水槽)、阿賀野川浄水場(配水池、洗浄水槽、沈砂池)、巻取水場(沈砂池)、長峰配水場(配水池)、秋葉配水場(配水池)	【土木構造物】・青山浄水場配水池(令和5年度完了予定) ・秋葉配水場配水池(令和5年度完了予定)・巻取水場沈砂池(令和5年度完了予定) 【構内水管】・青山浄水場構内水管(令和6年度完了予定) 【設計業務】今後の耐震化に向けた設計業務 耐震実施予定8施設 平成27～令和6年度※下線は完了 青山浄水場(配水池、洗浄水槽)、阿賀野川浄水場(配水池、洗浄水槽、沈砂池)、巻取水場(沈砂池)、長峰配水場(配水池)、秋葉配水場(配水池)		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	250,245,000			580,590,000								
	執行額 (b)	207,089,000											
	執行率 (%) (b) / (a)	82.8%			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c)	2.50人	2.50人	100%	2.27人								
	担当者数												
	期間 (d)	1年	1年	1年									
対応期間													
単位あたりの作業量 (c/d)	2.50人/年	2.50人/年		2.27人/年									
対応期間あたり従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	◆長峰配水場配水池の工事着手 ◆設計業務 ◆各耐震化に向けた設計業務	◆青山浄水場施設整備事業 ・構内水管耐震化工事（契約） ・構内水管布設工事（契約） ・配水池長寿命化工事（契約） ◆経年劣化した設備の個別整備 ・長峰配水場配水池長寿命化工事（R3年度完了） ◆各施設整備に向けた設計業務											
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～	
	青山浄水場施設整備事業		1点										
	個別整備による耐震化工事		1点										
	平均 (A)		1.0点		平均 (A)				平均 (A)				平均 (A)

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
【土木構造物】 (完了数/全計画数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	1	0	3	0	1施設完了	100%	3点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											
	5/8	5/8	8/8	8/8	5/8施設完了	100%	3点										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・青山浄水場施設整備事業における構内水管耐震化工事、 構内水管布設工事、配水池長寿命化工事を計画通りに発注し、 工事着手しました。 ・長峰配水場配水池長寿命化工事は計画通りに完了しました。											
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・大規模地震が発生した場合でも、水道システムとして機能を 損なうことのないように浄配水場施設の耐震化を進めていく必 要があります。令和3年度は長峰配水場配水池の耐震化工事 が完了しました。 ・来年度以降も継続して、浄配水施設の施設整備にあわせ、 計画的かつ効率的に耐震補強を実施します。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

	維持			
【方向性】	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV-2	管路施設の計画的耐震化	所管課	計画整備課
----	----	------------	--------	------	-------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	大規模地震が発生した場合でも、生活や都市活動に必要な水道水をできる限りお客さまに届けられるよう、老朽化管路を地震に強い耐震管へ入れ替え、管路施設の耐震化を進めます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ○基幹管路更新 <ul style="list-style-type: none"> ・基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度 32.8 k m 令和3年度 1,500m（後期実施計画より） ○配水支管更新 <ul style="list-style-type: none"> ・年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度 132.3 k m 令和3年度 11,100m（後期実施計画より） （Ⅲ-2 管路施設の計画的更新に併せ実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ○基幹管路更新事業 <ul style="list-style-type: none"> ・基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度32.8 k m 令和4年度 2,400m（後期実施計画より） ○配水支管更新事業 <ul style="list-style-type: none"> ・年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度 132.3 k m 令和4年度 10,600m（後期実施計画より） 		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	6,344,500,000			6,936,000,000								
	執行額 (b)	4,917,126,061											
	執行率 (%) (b) / (a)	77.5%			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c)	34.80人	34.68人	99.7%	35.00人								
	担当者数												
	期間 (d) 対応期間	1年	1年		1年								
	単位あたり の作業量 (c/d)	34.80人/年	34.68人/年	35.00人/年									
対応期間あたり 従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	<ul style="list-style-type: none"> ◆工事発注延長（注） 基幹管路更新事業 更新延長 3,897m 4,600m（予算時計画長） 配水支管更新事業 更新延長 12,884m 11,570m（予算時計画長） ※既設管路ルートでの更新が困難なため、別ルートによる更新を行った結果、延長が増減しています。 ◆工事竣工延長（前年度からの繰越延長含む） 基幹管路更新事業 更新延長 4,830m 配水支管更新事業 更新延長 11,938m 	<ul style="list-style-type: none"> ◆工事発注延長（注） 基幹管路更新事業 更新延長 3,314m 2,155m（予算時計画長） 配水支管更新事業 更新延長 13,767m 11,977m（予算時計画長） ◆工事竣工延長（前年度からの繰越延長含む） 基幹管路更新事業 更新延長 2,484m 配水支管更新事業 更新延長 13,718m 											
	(注)：事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理しています。	(注)：事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理しています。											
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		基幹管路更新事業	2点										
		配水支管更新事業	2点										
		平均 (A)	2.0点			平均 (A)				平均 (A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
管路耐震適合率 ※評価指標の延長は 発注延長(計画値) を使用	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	69.7%	70.1%	70.4%	70.8%	69.8%	100.1%	4点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	69.7%	70.1%	70.4%	70.8%	69.8%	100.1%	4点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
											0点						
基幹管路耐震適合率 ※評価指標の延長は 発注延長(計画値) を使用	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	67.4%	68.2%	69.1%	70.1%	67.9%	100.7%	4点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	67.4%	68.2%	69.1%	70.1%	67.9%	100.7%	4点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
											0点						
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)								実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)							0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)								実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)								実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)								実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)								実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・新・マスタープラン後期実施計画の見直しにより、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化しています。 ・試掘などの事前調査を実施し、計画の実現性を高めたことで、目標の事業量を効率的に達成することができました。											
評価結果	予算効率	5点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	A	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	9点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・管路施設の耐震化については、生活や都市活動に必要な水道水をできるだけ届けられるよう、更新事業にあわせ計画的に進めていきます。 ・新・マスタープラン後期実施計画の見直しにより、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化しています。											
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	経営審議会総評				
	予算規模が大きく、管路施設は水道システムの根幹をなすものであることから、引き続き、計画に沿った事業推進に努めること。				

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV-3	重要施設向け配水管の耐震化	所管課	計画整備課
----	----	------------	--------	------	---------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	災害時に早急な対策・復旧計画の策定が求められる行政機関や、被災した市民の生命に係る救急医療施設などの重要施設向け配水管の耐震化を優先的に進め、被災対応の充実を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○重要施設向け配水管の耐震化 ・重要施設に位置つけた市内の行政機関および救急医療機関への供給ルートである配水管を優先的に耐震管に入れ替えます。 ・令和3年度 医療機関2施設 累計41施設（行政機関9施設、医療機関32施設） ・耐震化予定の重要施設（令和6年度まで） 累計48施設（行政機関12施設、医療機関36施設）	○重要施設向け配水管の耐震化 ・重要施設に位置つけた市内の行政機関および救急医療機関への供給ルートである配水管を優先的に耐震管に入れ替えます。 ・令和4年度 行政機関1施設 累計42施設（行政機関10施設、医療機関32施設） ・耐震化予定の重要施設（令和6年度まで） 累計48施設（行政機関12施設、医療機関36施設）		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	300,000,000			342,000,000								
	執行額 (b)	280,044,600											
	執行率 (%) (b) / (a)	93.3%			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c)	1.17人	1.33人	113.7%	1.83人								
	担当者数												
	期間 (d)	1年	1年		1年								
	対応期間												
単位あたりの作業量 (c/d)	1.17人/年	1.33人/年		1.83人/年									
対応期間あたり従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	◆耐震化完了重要施設数（実際に工事が完了した施設数の累計） ・行政機関 9施設 ・医療機関 30施設 （令和2年度 みどり病院、とやの中央病院、新潟万代病院 完了） ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数 ・行政機関 0施設【計9施設】 ・医療機関 3施設【計31施設】 みどり病院、新潟万代病院、新津信愛病院 （R2年度発注：2カ年継続）	◆耐震化完了重要施設数 （実際に工事が完了した施設数の累計） ・行政機関 9施設 ・医療機関 32施設 （R3年度 新潟信愛病院、新津信愛病院 完了） ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数 ・行政機関 0施設【計9施設】 ・医療機関 2施設【計33施設】 新潟信愛病院、白根大通病院 （R3年度発注：4カ年継続）														
		予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~		予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~		予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~		予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~
	重要施設向け配水管の耐震化		1点													
	平均 (A)	1.0点			平均 (A)	平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
耐震化完了重要施設数 (マスタープラン前1施設及び計画 以外2施設の完了を含む)	2施設	1施設	1施設	5施設	2施設	100%	3点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	41施設	42施設	43施設	48施設	41施設	100%	3点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に業務を進めた結果、今年度に予定された工事については全て発注できました。 人員体制は更新レートの調整に時間を要しましたが、効率的な発注ができました。 											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	2点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 医療2施設を計画通り発注しました。 当該事業は、災害時の対策として重要な取り組みであることから、今後も計画的に進めます。 											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

	維持			
【方向性】	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV-4	配水管網のブロック化の推進	所管課	管路課
----	----	------------	--------	------	---------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	事故・災害時の被害範囲の極小化や復旧の迅速化を図るため、配水幹線の更新や関連事業との整合を図りながら、小ブロック（135ブロック）の構築を行います。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○小ブロックの構築 ・令和2年度末（85.9% 116/135） ・令和6年度末（90.4% 122/135）	○小ブロックの構築 ・令和2年度末（85.9% 116/135） ・令和6年度末（90.4% 122/135）		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			0								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	0人	0人	0%	0人								
	期間 (d) (従事期間)	1年	1年		1年								
	単位あたり の作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	0人/年 (ア)	0人/年 (イ)		0人/年 (イ/ア)	0人/年 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	・小ブロック構築数 6ブロック ・小ブロック構築率 85.9% (116/135) 巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備や中之口川に係る水管橋整備の進展等に併せて、6ブロックの構築に至りました。	・小ブロック構築数 3ブロック ・小ブロック構築率 87.4% (118/135) ・老朽管の機能停止及び適正な注入点数への変更により、3ブロックを構築しました。 なお、今年度は、令和2年度構築済みの1ブロックを包含する新たなブロックを構築したため、構築済みブロック数が令和2年度の116から118へと2ブロックの増加となっています。											
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
	小ブロック構築数		1点										
	平均 (A)	1.0点			平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
小ブロック構築率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	87.4%	88.9%	88.9%	90.4%	87.4%	100%	3点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-	3点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・小ブロック構築のための管路整備は、他の管路整備事業に併せて効率的に実施しています。 ・予算の計上及び執行はありませんが、今年度は3ブロックを構築することができました。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・配水管網のブロック化は、事故・災害発生時における被害の局所化や迅速な復旧を行うための取り組みとなります。今年度の目標値を達成し、配水管網の事故・災害対応面でのレベルアップが着実に進んでいます。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

	維持			
【方向性】	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV-5	大ブロック間の相互連絡管の整備	所管課	管路課
----	----	------------	--------	------	-----------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	事故・災害時のバックアップを目的とし、大ブロック（各浄水場給水区域）間に相互連絡管を整備し、安定給水の向上を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ○巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線 φ500mm L=6,880m 期間：H27～R6年度 ○信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備 ・亀貝ルート φ500mm L=2,340m 期間：R3～R6年度 ○南浜配水場系～内島見配水場系連絡管整備 ・豊栄-太夫浜線 φ500mm L=650m 期間：R3～R4年度 	<ul style="list-style-type: none"> ○巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線 φ500mm L=6,880m 期間：H27～R6年度 ○信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備 ・亀貝ルート φ500mm L=2,340m 期間：R3～R6年度 ○南浜配水場系～内島見配水場系連絡管整備 ・豊栄-太夫浜線 φ500mm L=650m 期間：R3～R4年度 		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	688,000,000			449,500,000								
	執行額 (b)	501,801,000											
	執行率 (%) (b) / (a)	72.9%			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人 員)】 時間 (人員) は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	2.25人	2.25人	100%	1.6人								
	期間 (d) (従事期間)	1年	1年		1年								
	単位あたり の作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	2.25人/年 (ア)	2.25人/年 (イ)		1.6人/年 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・φ500mm L=702.5m 前々年度から工程の組替えを行った影響で、 今年度は、所期目標値を上回る整備延長を施 工しました。 青山浄水場系～南山配水場系連絡管整備 ・φ500mm L=782m 今年度予定していた工区の一部を前年度に前 倒して発注したこともあり、今年度発注延長は計 画を下回ったものの、今年度発注工事をもって、 当該整備事業は完了しました。	・巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 φ500mm L=240.2m ・信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備 φ500mm L=610.9m ・南浜配水場系～内島見配水場系連絡管整備 φ500mm L=401.7m 初年度の2ルートも含め予定を上回る施工ができました。														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
	連絡管整備延長	2点														
	平均 (A)	2.0点			平均 (A)	平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
相互連絡管整備延長 (巻浄水場系～ 戸頭浄水場系連絡管)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	240.2m	104.4%	4点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	230m	350m	350m	330m												
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
相互連絡管整備延長 (信濃川浄水場系～ 青山浄水場系連絡管)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	610.9m	103.5%	4点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	590m	200m	600m	950m												
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
相互連絡管整備延長 (南浜配水場系～内島 見配水場系連絡管)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	401.7m	100.4%	4点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	400m	250m	-	-												
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	401.7m	100.4%	4点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	401.7m	100.4%	4点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備並びに信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備については、工期割りの調整から目標値以上の延長を整備することができました。 ・南浜配水場系～内島見配水場系連絡管整備については、予定どおりの延長の整備により目標値を達成することができました。											
評価結果	予算効率	5点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	A	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点
	外的要因加点	0点	9点/10点	外的要因加点			外的要因加点			外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・3路線すべてで目標値を達成しており、事故・災害発生時のバックアップ機能向上を目的とする連絡管整備が着実に進んでいます。 ・事故・災害発生時のバックアップ機能を向上させるため、今後も計画に沿って事業を実施していきます。											
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点
	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点			外的要因加点			外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	経営審議会総評				
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV-6	事故・災害時における復旧体制の強化	所管課	経営管理課
----	----	------------	--------	------	-------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	事故・災害時などの非常時において、迅速かつ確に応急給水する体制や、水道施設を早期に復旧する体制の強化を図るとともに、応急給水設備の整備、給水・復旧に係る各種災害協定や関係団体・地域住民との連携の強化などはかります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ○各種災害時マニュアルの作成・更新 ・各種災害時マニュアルの見直し拡充。 ○マニュアルに基づく訓練の実施 ・局内及び他事業体との訓練。 ○応急給水設備の整備 ・浄水場における給水車用常設注水設備の整備。 ・住民用応急給水設備の整備に向けた調整。 ○災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業や地域住民との協力及び協働体制構築に向けた調整。 ・避難所等への非常用給水用具の整備に向けた調整。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種災害時マニュアルの作成・更新 ・各種災害時マニュアルの見直し拡充。 ○マニュアルに基づく訓練の実施 ・局内及び他事業体との訓練。 ○応急給水設備の整備 ・浄水場における給水車用常設注水設備の整備。 ・住民用応急給水設備の整備に向けた調整。 ○災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業や地域住民との協力及び協働体制構築に向けた調整。 ・避難所等への非常用給水用具の整備に向けた調整。 		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			0								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-			-			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c)	28.3時間	28.3時間	100%	28.3時間								
	時間 (h)												
	期間 (d)	3人	3人		3人								
	作業従事職員数												
単位あたりの作業量 (c/d)	9.4時間	9.4時間		9.4時間									
h/人	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	各種災害時マニュアルの作成・更新 ・マニュアル等を見直し内容の充実を図りました。 (危機事象対応マニュアルなど)	各種災害時マニュアルの作成・更新 ・マニュアル等を見直し内容の充実を図りました。(危機事象対応マニュアル、応急対策マニュアルなど)											
	マニュアルに基づく訓練の実施 ・局内訓練（地震対応訓練）は実施準備を進めていたが、悪天候により急遽中止となりました。 ・他事業体（神戸市、名古屋市）とweb会議を用いた訓練を行いました。	マニュアルに基づく訓練の実施 ・局内訓練（地震対応訓練）を予定通り実施しました。 ・他事業体（名古屋市、仙台市、札幌市、東京都、堺市）とWEB会議を用いた訓練、情報交換を行いました。											
	応急給水設備の整備 ・戸頭浄水場に給水車常設注水設備を整備しました。	災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業と災害時応援協定を締結しました。 (公益社団法人全国上下水道ワーカーズ協会中部支部)											
	災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業と災害時応援協定を締結しました。 (水島鉄工(株)、wKing他2社、フジコム(株))	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	拠点給水所の周知方法の検討 ・拠点給水所の使用可否について課題整理を行いました。	各種災害時マニュアルの更新	1点										
		マニュアルに基づく訓練の実施	1点										
		災害時の協力体制および連携体制の充実	1点										
		平均 (A)	1.0点			平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)		達成度(D/B)									
各種マニュアルの 作成・見直し	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	実施	実施	実施	実施	実績	3点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
マニュアルに基づく 訓練の実施	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	実施	実施	実施	実施	実績	3点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
給水車用常設注水 設備の整備	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	実施	実施	実施	実施	実績	3点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
応急給水の機能強化	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	実績	3点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・今年度予定されていた取組内容について、概ね実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、訓練等については、参会式の訓練は中止となり、WEB形式に変更となりました。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・マニュアルの見直しを行い、災害対応力を向上させました。 ・局内訓練の実施により、災害時の初動対応について、一連の流れを確認することができました。 ・他事業体との訓練により、災害時の連携を確認し救援活動の実効性を高めました。 ・民間企業と災害時応援協定を締結し、災害時の協力及び連携体制を強化しました。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

	維持			
【方向性】	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、各種災害時の対応や復旧体制については、マニュアル類の継続的な点検・改善や訓練の定期実施等を通して、発生時に有効に機能するように努めること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-1	アセットマネジメントによる適正な資産管理	所管課	計画整備課
----	---	---------	--------	-----	----------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	人口減少に伴い給水収益の大幅な減少が見込まれる中、水道事業を安定して持続していくために、中長期的な視点に立って、施設更新需要の見通しについて検討し、着実な更新投資を行う必要があります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○水道施設台帳の整備 ・アセットマネジメントの基礎となる必要情報の効率的な整備 と、蓄積した情報の効果的な利用を目的として、施設情報等を 一元管理できる水道施設台帳の整備について検討します。	○水道施設台帳の整備 ・アセットマネジメントの基礎となる必要情報の効率的な整備 と、蓄積した情報の効果的な利用を目的として、施設情報等を 一元管理できる水道施設台帳の整備について検討します。 ○全局的なアセットマネジメントの推進 ・持続可能な水道事業の実現に向けて、「アセットマネジメント 推進委員会」を設立し、全局的なアセットマネジメントの実践・ 管理を図ります。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			0								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c)	0.40人	0.40人	100%	0.40人								
	担当者数												
	期間 (d)	1年	1年	1年									
	対応期間												
単位あたり の作業量 (c/d)	0.40人/年	0.40人/年	0.40人/年										
対応期間あたり従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	浄配水施設再編基本構想については、市議会への説明を行い、「新潟市水道施設整備長期構想2020」として公表することができました。また、新マスタープラン後期実施計画では、本構想を踏まえ、次期マスタープランを見据えた施設整備計画を策定することができました。	水道施設台帳システムについて、プラント系メーカーや水道コンサルなど、様々なシステムベンダーが構築したシステムのデモンストラーションを受け、有用性や特色などを確認しました。 ・浄配水施設の設備状況について、台帳の電子データ化が概ね完了したことを確認しました。														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	水道施設台帳整備の検討		1点													
	平均 (A)	1.0点			平均 (A)	平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
施設整備計画の 策定	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	—	—	策定	—	—	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
水道施設台帳整備 の検討	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実施	水道施設台帳システムの検討	実施	3点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	—	—	—	—	—	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	—	—	—	—	—	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	—	—	—	—	—	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・当初予定通りの人員で水道施設台帳整備の検討を進めることができました。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・アセットマネジメントの効率化・高度化に向け、水道台帳システムのベンダーによるデモンストレーションを受け、システムの有用性や各社の特色を確認しました。 ・浄配水施設の設備状況について、電子データ化が概ね完了したことを確認しました。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	経営審議会総評				
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-2	定員・給与の適正化	所管課	総務課
----	---	---------	--------	-----	-----------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	独立採算で運営する水道事業は、最小のコストで最大の効果を得るよう努める必要があります。健全な運営のために求められる人的資源の最適化を常に追求しつつ、事業運営の効率化を推進します。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○定員の適正化 ・職員数については、再任用職員を含めた定員管理を実施するとともに、引き続き業務の見直しなどを図り、定員の適正化を進めます。 ○給与の適正化 ・職員給与については、市長事務部局および他政令市の状況に準じた見直しを図ります。	○定員の適正化 ・職員数については、再任用職員を含めた定員管理を実施するとともに、引き続き業務の見直しなどを図り、定員の適正化を進めます。 ○給与の適正化 ・職員給与については、市長事務部局および他政令市の状況に準じた見直しを図ります。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			0								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-			-			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	480時間	480時間	100%	480時間								
	期間 (d) (作業従事職員数)	2人	2人		2人								
	単位あたり の作業量 (c/d) (1人あたりの年間作業時間)	240時間 (ア)	240時間 (イ)		240時間 (イ/ア)	240時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	定員の適正化 ・再任用職員を含めた定員管理により、適正な人員を配置しました。 ・年度末職員数 341名	定員の適正化 ・再任用職員を含めた定員管理により、適正な人員を配置しました。 ・年度末職員数 337名														
	給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施しました。	給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施しました。														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	定員の適正化	2点														
	給与の適正化	1点														
	平均 (A)	1.5点			平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)					

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点									
職員数(人) (再任用短時間職員等 を含む)	351人以下	351人以下	351人以下	351人以下	337人	103.4%	4点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-	4点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・職員定数については、今後の業務見通しや再任用職員数の増減等を考慮し、次年度体制を見据えた中で、適正に行うことができました。 ・給与改定については、市長部局の改正に連動して、遅滞なく実施することができました。 (職員定数、給与とも、経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します。)											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・再任用職員を含めた適正な人員管理を実施した結果、目標職員数である351人以下を達成し、適正な定数管理を行うことが出来ました。 ・給与は市長部局の改正のタイミングに併せ、同じ水準で見直しを行いました。											
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

	維持			
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-3-①	業務効率化に向けた民間委託の検討・実施 DB（デザインビルド）方式の導入（試行）	所管課	計画整備課
----	---	---------	--------	-------	---	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	事業の経営責任を確保しながら、経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、新たな民間委託の導入に向けた検討を進め、効果が見込める業務について積極的に委託化に取り組みます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○DB（デザインビルド）方式の導入（試行） ・経済性と効率化の観点や他都市の状況も含めた調査・検討を行います。 【取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務委託】 令和3～4年度 【取水施設撤去事業（DB方式）】 令和4～7年度	○DB（デザインビルド）方式の導入（試行） ・経済性と効率化の観点や他都市の状況も含めた調査・検討を行います。 【取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務委託】 令和3～4年度 【取水施設撤去事業（DB方式）】 令和4～7年度（令和4年度：契約、調査・設計業務 着手令和5年度以降：工事着手）		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			45,200,000								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c)	0.60人	0.60人	100%	0.60人								
	担当者数												
	期間 (d)	1年	1年		1年								
対応期間													
単位あたりの作業量 (c/d)	0.60人/年	0.60人/年		0.60人/年									
対応期間あたり従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	取水施設撤去工事DB方式導入可能性調査業務委託を実施しました。 月潟浄水場、中之口・潟東浄水場、旧巻浄水場の3施設の取水施設撤去工事についてDB方式にて発注することを決定しました。	◆取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務委託 ・取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務（契約）														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
			1点													
		平均 (A)	1.0点			平均 (A)				平均 (A)				平均 (A)		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
DB方式実施に 向けた事業者選定 支援業務	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	実施	実施	-	-	実施	3点		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
DB方式による 取水施設撤去事業	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	-	実施	実施	実施	-	-		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
								実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
								実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
								実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務を計画通りに発注し、着手しました。 月潟浄水場、中之口・潟東浄水場、旧巻浄水場の3施設の取水施設撤去工事について、DB方式での発注に向けて、実施方針や要求水準書（案）の公表を行いました。 											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 事業を実施するため、さらなる業務効率化に向けた官民連携手法の検討を進めていく必要があります。 今年度契約した取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務について、来年度以降も計画通り業務を進め、DB（デザインビルド）方式による事業の契約を行います。 											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

	維持			
【方向性】	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-3-②	業務効率化に向けた民間委託の検討・実施 給水装置工事検査業務の委託化に係る調査・検討	所管課	管路課
----	---	---------	--------	-------	---	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	事業の経営責任を確保しながら、経済的かつ効率的にお客様サービスの維持向上を図るため、新たな民間委託の導入に向けた検討を進め、効果が見込める業務について積極的に委託化に取り組みます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○給水装置工事検査業務の委託化に係る調査・検討 ・給水装置工事検査業務について、経済性や業務執行 状況等の検証を実施するとともに、技術の継承方法、執行 体制など、他都市の事例を調査するなど、委託化による 効果の有無について検討を行う。	○給水装置工事検査業務の委託化に係る調査・検討 ・給水装置工事検査業務について、経済性や業務執行 状況等の検証を実施するとともに、技術の継承方法、執行 体制など、他都市の事例を調査するなど、委託化による 効果の有無について検討を行う。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			0								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	0.13人	0.026人	20%	0.026人								
	期間 (d) (従事期間)	1年	1年		1年								
	単位あたり の作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	0.13人 (ア)	0.026人/年 (イ)		(イ/ア)	0.026人 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	なし（令和3年度からの新規事業）	・WGを年間13回開催したほか、他都市調査などそれ以外の 場においても検討しました。														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
		委託化に係る調査・検討	1点													
		平均 (A)	1.0点			平均 (A)				平均 (A)				平均 (A)		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
給水装置工事検査 業務の委託化に係る 調査・検討	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	実施	3点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-	3点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	<p>【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。</p>	<p>・他都市の状況把握等により検討を進めることができました。 ・作業人員について調査・検討に取り組み段階でWGを立ち上げ、項目毎に担当を割り振りして責任を持たせることで少ない時間での検討が可能となり、結果的に作業効率は目標を上回りました。</p>										
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	B	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
<p>【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。</p>	<p>・「業務の現況」「政令市における業務執行体制」「委託化に係る比較評価」等について調査・検討しました。 ・今後も調査を重ね、検討をより深化させていきます。</p>											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		経営審議会総評			経営審議会総評			経営審議会総評			経営審議会総評	
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。											

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-3-③	業務効率化に向けた民間委託の検討・実施 料金関連業務の委託化に係る調査・検討	所管課	営業課
----	---	---------	--------	-------	---	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	事業の経営責任を確保しながら、経済的かつ効率的にお客様サービスの維持向上を図るため、新たな民間委託の導入に向けた検討を進め、効果が見込める業務について積極的に委託化に取り組みます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○料金関連業務（名義変更処理、再検針対象外の認定、更正処理）の委託化に係る調査・検討 ・部分委託によって複雑化した業務の見直し・整理を行うとともに他都市事例を調査するなど、委託化による効果の有無について検討。	○料金関連業務（名義変更処理、再検針対象外の認定、更正処理）の委託化に係る調査・検討 ・部分委託によって複雑化した業務の見直し・整理を行うとともに他都市事例を調査するなど、委託化による効果の有無について検討。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			0								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-						#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	146時間	146時間	100%	88時間								
	期間 (d) (従事期間)	6月	6月		6月								
	単位あたり の作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	24.3時間 (ア)	24.3時間 (イ)		14.6時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		委託化に係る調査・検討 ・現行業務フローを確認しながら問題点を洗い出し、委託化に係るメリット、デメリットを整理した。また、今後解決すべき課題を洗い出した。											
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~									
			1点										
		平均 (A)	1.0点		平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)		

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
料金関連業務(名義変更処理、再検計対象外の認定、更正処理)の委託化に係る調査・検討。	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	実施	3点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	-	-	-	-	-	-	3点	0点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・業務フローの検証を行い、委託化に向けた問題点の洗い出しと解決方法の検討を行った。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・委託化に向けた問題点が明らかになったことから、今後は解決に向けて引き続き検討していきます。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	経営審議会総評				
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-4	遊休資産の有効活用	所管課	経営管理課
----	---	---------	--------	-----	-----------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	施設統廃合計画により廃止となった浄配水場等の遊休資産を有効活用することにより、財政基盤の強化を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究 ・遊休資産の有効活用について、情報収集活動や調査・ 研究を行う。	○施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究 ・遊休資産の有効活用について、情報収集活動や調査・ 研究を行う。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度					
	予算額 (a)	0		0									
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-		#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!					
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	18.1時間	18.1時間	100%	18.2時間								
	期間 (d) (従事職員数)	1人	1人		1人								
	単位あたり の作業量 (c/d) (1人あたりの実働時間)	18.1時間 (ア)	18.1時間 (イ)		(イ/ア)	18.2時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	・令和2年度は新たな遊休資産の活用はありませんでしたが、活用に向け調査を行いました。 ・市環境部と協力し、旧長戸浄水場用地を含む複数の市所有地を活用したオフサイト P P A モデルによる太陽光発電の実施検討に着手しました。 ・亀田浄水場用地の一部及び新たに旧長戸浄水場用地の一部を、冬期間、道路除雪の雪集積場として活用しました。		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		施設有効活用に向けた情報 収集活動や調査・研究		1点									
		平均 (A)	1.0点			平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
有効活用の 調査・研究	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	実施	3点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-	3点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・予算効率は事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・環境部と協力し、旧長戸呂浄水場用地を含む複数の市所有地を活用したオフサイトP P Aモデルによる太陽光発電の実施検討に着手しました。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

	維持			
【方向性】	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-5	時代に即した料金制度等の検討・実施	所管課	経営管理課
----	---	---------	--------	-----	-------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	水需要や財政収支の状況を踏まえ、将来にわたり安全な水の安定供給の持続が可能となるよう、維持管理・更新の時代に即した料金制度の検討を行います。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○料金体系の調査・研究、見直し案の検討、料金改定の必要性、時期、水準の検討 ・中長期的な収支見直しを立て、料金改定の必要性や時期、水準等について検討し、見直し案の検討を行う。 ・（公社）日本水道協会の「水道料金算定要領」に基づく料金シミュレーションの実施。 ・新たな料金制度の見直し案の検討。	○料金体系の調査・研究、見直し案の検討、料金改定の必要性、時期、水準の検討 ・中長期的な収支見直しを立て、料金改定の必要性や時期、水準等について検討し、見直し案の検討を行う。 ・（公社）日本水道協会の「水道料金算定要領」に基づく料金シミュレーションの実施。 ・新たな料金制度の見直し案の検討。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			0								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	80.6時間	80時間	100%	81時間								
	期間 (d) (従事職員数)	2人	2人		2人								
	単位あたり の作業量 (c/d) (1人あたりの実働時間)	40.3時間 (ア)	40時間 (イ)		40.5時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	・政令市と県内市町村の料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較（政令市）を行いました。 ・後期実施計画策定にあたり、令和6年度までの資金確保を確認しました。	・政令市と県内市町村の料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較（政令市）を行いました。 ・現状の水道料金の課題に関して「新潟市の水道料金に関するレポート」を作成しました。											
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	
	料金体系の調査・研究、 見直し案の検討 料金改定の必要性、時期、 水準の検討		1点										
			1点										
	平均 (A)	1.0点			平均 (A)				平均 (A)				平均 (A)

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
料金制度見直し案の 調査・研究	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	実施	3点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-	3点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・他政令市と県内市町村の料金改定状況等を調査し、比較検証を行いました。 ・予算効率率は事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・時代に即した料金制度等の検証等のため、基礎資料を収集し、レポートを作成しました。 ・重要な事業取組であることから、持続可能な経営を構築することを目的に、社会情勢や財政収支などを見据えながら、引き続き調査研究を行います。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持			
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-6	水道事業経営審議会の効果的運用	所管課	経営管理課
----	---	---------	--------	-----	-----------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	水道事業経営審議会を継続し、有識者や水道利用者などの第三者の意見や助言を事業運営に効果的に反映させます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○水道事業経営審議会の継続運営 ・水道事業決算及び次年度予算、事業の進捗状況や評価などについての意見、提言、助言を事業運営へ反映。 ・新たな水道料金制度等の検討・審議。	○水道事業経営審議会の継続運営 ・水道事業決算及び次年度予算、事業の進捗状況や評価などについての意見、提言、助言を事業運営へ反映。 ・新たな水道料金制度等の検討・審議。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	436,000											
	執行額 (b)	420,200											
	執行率 (%) (b) / (a)	96.4%			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	60.5時間	60.5時間	100%	60.75時間								
	期間 (d) (従事期間)	2人	2人		2人								
	単位あたり の作業量 (c/d) (1人あたりの実働時間)	30.2時間 (ア)	30.2時間 (イ)		30.4時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	・水道事業経営審議会を3回開催しました。 ・会議の議事録は資料と合わせ、局ホームページに掲載しました。	・水道事業経営審議会を（3回/年）開催し、意見・提言・助言をいただきました。審議会の議事録は会議資料と合わせ、局ホームページに掲載しました。 ・令和3年10月に委員及び公募委員の改選があり、再任5名、新任3名、公募委員2名の方に就任いただきました。 ・新たに就任いただいた委員向けに事前説明会を開催しました。														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
			1点													
		平均 (A)	1.0点			平均 (A)				平均 (A)				平均 (A)		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
予算・決算、新・MP 事業実施状況に対 する意見・提言の聴取 と反映	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	実施	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-	3点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・水道事業経営審議会を(3回/年)開催し、委員及び公算委員の改選も予定どおり行いました。 ・予算効率・作業効率も予定枠内となり、目標どおり達成しています。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・水道事業経営審議会を3回開催し、予算・決算報告及び、新・マスタープラン事務事業について、中期期間実施分評価及び令和2年度実施分2次評価をいただきました。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

	維持			
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-7	機能的・効率的な組織体制の構築	所管課	総務課
----	---	---------	--------	-----	-----------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	水道事業が直面している多くの課題に的確に対応し、事務事業を効果的・効率的に推進するため、持続可能な水道システムを支える組織の構築を進める。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○機能的・効率的な組織体制の構築 ・業務量の増減及び目標達成度等を考慮した小規模な組織の見直しを適宜実施し、意思決定から実行までの速度を向上させるとともに、中長期経営計画に掲げた目標を達成するため、経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態の調査・検討を行います。	○機能的・効率的な組織体制の構築 ・業務量の増減及び目標達成度等を考慮した小規模な組織の見直しを適宜実施し、意思決定から実行までの速度を向上させるとともに、中長期経営計画に掲げた目標を達成するため、経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態の調査・検討を行います。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			0								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-			-			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	640時間	640時間	100%	640時間								
	期間 (d) (作業従事職員数)	4人	4人		4人								
	単位あたりの作業量 (c/d) (1人あたりの年間作業時間)	160時間 (ア)	160時間 (イ)		160時間 (イ/ア)	160時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	中長期経営計画に掲げた目標を達成するため、一部の所属において新たにグループ制を導入し、経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態となるよう組織改正を行いました。	・経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態となるよう検討し、令和4年度におけるグループ制の効率的再編へとつなげることができました。														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
	最適な組織形態の検討		1点													
	平均 (A)	1.0点			平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)					

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
継続的な組織の 見直し	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	調査・検討	実施	3点	調査・検討	実施	3点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	実施	3点	調査・検討	実施	3点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点									

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・令和4年度における最適な組織形態の検討を、適切かつ効率的に行うことができました。 (経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します)											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・令和4年度において、経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態とすることができました。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

	維持			
【方向性】	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-8-①	ICTを活用した業務効率化 RPA (RoboticProcessAutomation)の導入	所管課	営業課
----	---	---------	--------	-------	--	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	ICTを活用した業務効率化を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○RPA (RoboticProcessAutomation)の導入 ・定型的な入力業務等についてソフトウェアによる自動化を検討し、導入する。	○RPA (RoboticProcessAutomation)の導入 ・RPAソフトウェアライセンスを1ライセンス取得し、試行運用を開始する。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			1,326,400								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	192時間	192時間	100%	432時間								
	期間 (d) (従事職員数)	2人	2人		3人								
	単位あたり の作業量 (c/d) (1人あたりの実働時間)	96時間 (ア)	96時間 (イ)		144時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		・RPA導入のためソフトウェアおよび対象業務の選定を行った。											
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	
		RPAの導入	1点										
		平均 (A)	1.0点			平均 (A)	平均 (A)			平均 (A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
RPAの導入	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	調査・検討	実施	3点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	調査・検討	試行運用	試行運用	試行運用	調査・検討	実施	3点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	外的要因 加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	外的要因 加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	外的要因 加点
	-	-	-	-	-	-	3点	0点								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	外的要因 加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	外的要因 加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	外的要因 加点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	外的要因 加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	外的要因 加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	外的要因 加点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	外的要因 加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	外的要因 加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	外的要因 加点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	外的要因 加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	外的要因 加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	外的要因 加点

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・令和4年度からの試行運用に向け、予定通りRPAソフトウェアおよび対象業務の選定を以下の通り行った。 1 RPAソフトウェアは、他都市への照会などから市内ネットワークでの稼働実績、市長部局での導入実績およびサポート体制などを勘案し、市長部局と同様の製品を選定した。 2 対象業務は、営業課内で定期的に繰り返し行う業務を対象とし、統計資料作成業務と支払伝票の作成業務を選定した。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・令和4年度からの試行運用に向け、予定通りRPAソフトウェアおよび対象業務の選定を上記効率性評価に記載のとおり行い、目標を達成できた。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④2次評価結果

	維持			
【方向性】	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-8-②	ICTを活用した業務効率化 スマートメーターの導入検討	所管課	営業課
----	---	---------	--------	-------	--------------------------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	ICTを活用した業務効率化を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○スマートメーターの導入検討 ・スマートメーター導入による省力化の効果や、得られるデータの活用方法などについて調査・検討を進める。	○スマートメーターの導入検討 ・令和5年度からの実証実験に向け、詳細計画を策定する。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度					
	予算額 (a)	100,000		2,493,500									
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	0%		0%		#DIV/0!		#DIV/0!					
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	192時間	192時間	100%	384時間								
	期間 (d) (従事職員数)	4人	4人		4人								
	単位あたりの 作業量 (c/d) (1人あたりの実働時間)	48時間 (ア)	48時間 (イ)		96時間 (イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	・メーターのメーカーから講師を招き、スマートメーター説明研修を実施した。また、電力会社と実証実験（共同検針）についての協議を開始した。	・予定通りスマートメーター実証実験の基本計画を策定した。														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	スマートメーターの導入検討		1点													
		平均 (A)	1.0点		平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)					

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
スマートメーターの 活用についての 調査・検討	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	実施	3点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-	3点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・予算で計上していた旅費については、他都市への業務調査などを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できず未執行となったため予算効率率は3点とした。しかし、電力会社との協議を重ね、スマートメーター実証実験の基本計画を策定することができた。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・予定通りスマートメーター実証実験の基本計画を策定した。 ・実証実験基本計画の概要は、以下の通り 1 目的：将来的な導入に向けた情報収集 2 実験の方法：東北電力ネットワーク（株）のネットワークを使った自動検針（共同検針） 3 実験の規模：市営住宅1棟（40戸）その他10戸 4 実験の期間：令和5年6月頃～令和6年3月末まで 5 費用：約250万円											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	経営審議会総評				
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-8-③	ICTを活用した業務効率化 ICTを活用した給水装置審査業務の集約化に係る調査・検討	所管課	管路課
----	---	---------	--------	-------	---	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	ICTの活用による業務の再構築とそれに伴う執行体制の効率化について、調査・検討を進めます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○ICTを活用した給水装置審査業務の集約化に係る調査・検討 ・GISデータのネット閲覧や電子申請による給水申請書の受付など、ICTの活用を前提とした給水審査業務集約化の可能性とその効果の有無について、調査・検討を行います。	○ICTを活用した給水装置審査業務の集約化に係る調査・検討 ・GISデータのネット閲覧や電子申請による給水申請書の受付など、ICTの活用を前提とした給水審査業務集約化の可能性とその効果の有無について、調査・検討を行います。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			0								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	0.13人	0.026人	20%	0.026人								
	期間 (d) (従事期間)	1年	1年		1年								
	単位あたり の作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	0.13人 (ア)	0.026人/年 (イ)		(イ/ア)	0.026人 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	なし（令和3年度からの新規事業）	・WGを年間13回開催したほか、他都市調査などそれ以外の場においても検討しました。											
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	
		集約化に係る調査・検討	1点										
		平均 (A)	1.0点			平均 (A)	平均 (A)			平均 (A)	平均 (A)		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
給水装置工事審査 業務の集約化に係る 調査・検討	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	実施	3点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-	3点	0点								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・作業員について 調査・検討に取り組む段階でWGを立ち上げ、項目毎に担当を割り振って責任を持たせることで少ない時間での検討が可能となり、結果的に作業効率は目標を上回りました。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	B	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・「業務の現況」「効率化に係る比較評価」「他都市の業務対応状況」「現状における課題」等について調査・検討しました。ICT活用については、電子申請等について検討しました。今後は検討メンバーを実務担当にまで広げ、検討をより深化させていきます。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④2次評価結果

	維持			
【方向性】	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	VI-1	戦略的な広報の実施	所管課	総務課
----	----	---------------------	--------	------	-----------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	「新潟市水道局広報戦略」～広報活動の考え方～に基づき、継続的に広報計画を策定し、効果的な広報活動を展開します。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○広報計画に沿った広報活動の実施 ・独自イベントによる広報（水道週間行事、施設見学） ・お客さまに直接働きかける広報（災害パネル展示、出張授業、各種イベントへの出店） ・デジタルメディアを活用する広報（インターネット） ・紙媒体による広報（広報紙、検針票裏面、パンフレット） ・漫画を活用する広報（小学生向けパンフレット、工事看板）	○広報計画に沿った広報活動の実施 ・独自イベントによる広報（水道週間行事、施設見学） ・お客さまに直接働きかける広報（災害パネル展示、出張授業、各種イベントへの出店） ・デジタルメディアを活用する広報（インターネット） ・紙媒体による広報（広報紙、検針票裏面、パンフレット） ・漫画を活用する広報（小学生向けパンフレット、工事看板）		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	37,870,000			31,935,200								
	執行額 (b)	34,365,473											
	執行率 (%) (b) / (a)	90.7%			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員) は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	2160時間	2160時間	100%	2160時間								
	期間 (d) (従事期間)	12カ月	12カ月		12カ月								
	単位あたり の作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	180時間 (ア)	180時間 (イ)	(イ/ア)	180時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	・新型コロナウイルス感染症の影響から、水道週間（信濃川浄水場一般開放）を始め各種イベントが中止となりましたが、水道週間では「水太郎の手洗いカード」を市内小学校に配布するなどの代替広報を実施、他ではSNS（フェイスブック）の積極的な活用を行いました。	○水道週間 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、信濃川浄水場一般開放は中止となりましたが、代替広報として「水太郎の手洗い体操動画」を作成し、YouTubeチャンネルに公開したほか、SNS（フェイスブック）の積極的な活用を行いました。														
	・広報紙「水先案内」では漫画の活用に加え、集中連載「ご存知ですか？水道事業のこと」を連載するなど分かりやすい広報に努めました。	○出張授業 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、実地での出張授業は中止となりましたが、代替策として「水太郎と学ぶ水道授業DVD（動画）」を製作し、市内小学校に貸し出しを行いました。														
	これらの施策を通し、コロナ禍ではありましたが、幅広い層へ水道局の魅力を発信できていると考えています。	○広報紙「水先案内」 ・コミックエッセイ風デザインを採用し、気軽に読めそうな広報紙としたほか、連載企画「スイスNews」にて水道事業のことを分かりやすい広報に努めました。 昨年度に引き続きコロナ禍ではありましたが、これらの施策を通し、幅広い層へ水道事業の現状を正確かつ詳細に発信できました。														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
	独自イベント			0点												
	防災パネルの展示、出張授業			0点												
	HP		1点													
広報紙、検針票裏面広告		1点														
小学生向けパンフレット		1点														
平均 (A)		0.6点			平均 (A)				平均 (A)				平均 (A)			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
お客さまアンケートにお ける広報紙「水先案 内」の認知度	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	73.6%	98.1%	3点									
	75%以上	-	75%以上	-												
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-	3点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していたイベントなどの事業・取組が実施できなかったため、代替策として対面なしで実施可能な動画作成等に予算を費やしました。そのため、コストに見合った結果は出ませんでした。事業としての目的は概ね達成できました。											
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	2点	D	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点
	外的要因加点	0点	4点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、出張授業が中止となりましたが、代替策として動画DVDを作成したり、広報紙「水先案内」では連載企画「スイスイNews」を掲載するなど、戦略的な広報が実施できたと評価しています。しかしながら、「お客さまアンケート」における水先案内の認知度は73.6%にとどまり、目標値の75%以上は達成できませんでした。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

	維持			
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。ただし、社会のデジタル化・オンライン化が進む現状においては、多様な手段で戦略的・効果的な広報活動の検討・実施を継続することが望ましい。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	VI-2	お客さまの意見・要望の把握	所管課	総務課
----	----	---------------------	--------	------	---------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	本市水道事業における基本理念である「すべてのお客さまに信頼される水道」を実現するためには、お客さまが水道事業に求めるものを的確に把握して施策に反映させるなど、お客さまの視点に立った事業運営に努める必要があります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ○お客さまアンケートの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・お客さまアンケートを継続的に実施することにより、お客さまの水道事業に対する意見・要望を的確にとらえ、事業運営の基礎資料とします。 ○水道モニター制度運用 <ul style="list-style-type: none"> ・水道モニター制度を継続実施します。 ・モニターの皆さんから水道事業への提言をいただき、事業運営の参考とします。 ・いただいた提言は、ホームページで公表します。 （※新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止しました。）	<ul style="list-style-type: none"> ○お客さまアンケートの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・お客さまアンケートを継続的に実施することにより、お客さまの水道事業に対する意見・要望を的確にとらえ、事業運営の基礎資料とします。 ○水道モニター制度運用 <ul style="list-style-type: none"> ・水道モニター制度を継続実施します。 ・モニターの皆さんから水道事業への提言をいただき、事業運営の参考とします。 ・いただいた提言は、ホームページで公表します。 		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	2,658,300			1,440,300								
	執行額 (b)	1,480,250											
	執行率 (%) (b) / (a)	56%			0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	180時間	80時間	67%	180時間								
	期間 (d) (従事期間)	12ヵ月	8ヵ月		12ヵ月								
	単位あたり の作業量 (c/d) (月あたりの実働時間)	15時間 (ア)	10時間 (イ)		15時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	新型コロナウイルス感染症の影響から、水道モニター事業は中止しました。	<ul style="list-style-type: none"> ○お客さまアンケートの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・個人向けのアンケートを実施し、水道事業に対するお客さまの評価や意見およびニーズを把握するとともに、お客さま満足度や平成28年度および令和元年度に実施した同調査結果からの経年変化の分析を行いました。 ○水道モニター制度運用 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響から、水道モニター事業は中止しました。 														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	お客さまアンケート		1点													
	水道モニター制度運用			0点												
	平均 (A)		0.5点			平均 (A)				平均 (A)				平均 (A)		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
お客さまアンケートの 実施	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	実施	実施	実施	—	実施	実施	3点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
水道モニター活動回数 (モニター会議、施設見 学会、提言発表会等 開催数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	4回	4回	4回	4回	中止	—	—									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・お客さまアンケートを計画的に実施し、目的を達成しました。 水道モニター事業については、新型コロナウイルス感染症の影響 から中止となりました。 (評価は「お客さまアンケートの実施」のみ)											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・お客さまアンケートについては、お客さまの水道事業に対する評 価や意見の把握を行い、今後の事業運営の基礎資料として各 所属へ情報提供しました。 水道モニター事業は、新型コロナウイルス感染症の影響から中 止となりました。 (評価は「お客さまアンケートの実施」のみ)											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	経営審議会総評			
	引き続き、計画に沿って事業を推進し、お客様の意見・要望 の把握に努めること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	VI-3	分かりやすい経営情報の開示	所管課	経営管理課
----	----	---------------------	--------	------	---------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	これからの水道事業に要する費用負担のあり方や経営の効率化に対する取組みなどについて、分かりやすくお客さまにお知らせし、水道事業経営の透明性の向上を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○料金設定の仕組み（水道料金計算方法等）およびコスト情報の提供 ・水道事業の経営情報や水道料金などに関する情報を、広報紙やホームページなどを通じ、積極的に提供。	○料金設定の仕組み（水道料金計算方法等）およびコスト情報の提供 ・水道事業の経営情報や水道料金などに関する情報を、広報紙やホームページなどを通じ、積極的に提供。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			0								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	120.9時間	120.9時間	100%	121.4時間								
	期間 (d) (従事職員数)	6人	6人		6人								
	単位あたりの 作業量 (c/d) (1人あたりの実働時間)	20.1時間 (ア)	20.1時間 (イ)		20.2時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	・広報紙「水先案内」に予算及を掲載しました。また、水道事業について集中連載（夏・秋・冬号）をしました。 ・水道事業ガイドライン業務指標及び令和元年度事務事業評価の結果、新・マスタープランの結果をホームページで公表しました。 ・総務省通知「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」に基づき、令和元年度水道会計決算の経営比較分析表をホームページで公表しました。 ・新・マスタープラン後期実施計画を策定し、ホームページで公表しました。	・広報紙「水先案内」に予算概要を掲載しました。また、水道事業について集中連載（夏・秋・冬号）をしました。 ・水道事業ガイドライン業務指標及び令和2年度事務事業評価の結果、新・マスタープラン中期実施計画の結果をホームページで公表しました。 ・「総務省通知「経営比較分析表」の策定及び公表について」に基づき、令和2年度水道会計決算の経営比較分析表をホームページで公表しました。														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	料金の仕組み及びコスト情報の提供		1点													
	経営効率化に関する取り組み情報の提供		1点													
	平均 (A)	1.0点			平均 (A)	平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
料金の仕組みやコスト 情報の提供 (HP,水先案内に掲載)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	2回/年以上	2回/年以上	2回/年以上	2回/年以上	実施(3回)	実施	3点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
経営効率化に関する 取組情報の提供 (HP,水先案内に掲載)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	2回/年以上	2回/年以上	2回/年以上	2回/年以上	実施(2回)	実施	3点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点										
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)											

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・水道事業の仕組みについての情報、経営効率化に関する取組 み情報の提供を予定通り行いました。 ・事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・水道事業の仕組みについての情報、経営効率化に関する取 り組み情報等について、イラストや図表で分かりやすく広報紙 「水先案内」及びホームページで提供しました。 ・引き続き分かりやすい内容での情報提供となるように努めま す。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

	維持			
【方向性】	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	VI-4	放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	所管課	経営管理課
----	----	---------------------	--------	------	-------------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	放射性物質を含む浄水汚泥について、厳重な保管・管理を徹底するとともに、水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度の検査結果、浄水場等における放射線量などについて、お客さまに対し情報提供を行います。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理・処分。 ・通常発生する200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効利用を継続。 ・水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量などの検査の継続。 ・ホームページ等による検査結果の情報提供を継続。 ・8,000Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、国・県への積極的な要望を継続。	○厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理・処分。 ・通常発生する200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効利用を継続。 ・水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量などの検査の継続。 ・ホームページ等による検査結果の情報提供を継続。 ・8,000Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、国・県への積極的な要望を継続。 ・満願寺浄水場で保管している8,000Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥を特措法に基づく指定解除に伴い、産業廃棄物として処分。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0 (182,837,250)			0 (212,336,000)								
	執行額 (b)	0 (133,988,191)											
	執行率 (%) (b) / (a)	-			-			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	444.6時間	219時間	74.0%	21.0								
	期間 (d) (従事職員数)	60人	40人		10								
	単位あたりの作業量 (c/d) (1人あたりの実働時間)	7.4時間	5.5時間		2.1								
	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥を厳重に保管・管理しました。 ・200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥を有効活用しました。 ・水道水、河川水及び浄水汚泥の放射性物質濃度並びに浄水場周辺の放射線量を検査しました。 ・放射性物質濃度及び放射線量の検査結果をホームページ等で情報提供しました。 ・8,000Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、環境省及び新潟県に対して、日本協新潟県支部として要望書を提出しました。 ・満願寺浄水場で保管している8,000Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥について、国が放射性物質濃度の再測定を実施した結果、特措法に規定する基準値を下回ることが確認できたことから、具体的な処分の実施に向けた準備を行いました。	厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥を厳重に保管・管理しました。 ・200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥を有効活用しました。 ・水道水、河川水及び浄水汚泥の放射性物質濃度並びに浄水場周辺の放射線量を検査しました。 ・放射性物質濃度及び放射線量の検査結果をホームページ等で情報提供しました。 ・8,000Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、環境省及び新潟県に対して、日本協新潟県支部として要望書を提出しました。											
		予定を上回る101%以上 予定どおり90%~100%以下 予定を下回る90%未満~	1点										
		平均 (A)	1.0点	平均 (A)	平均 (A)	平均 (A)							

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
汚泥保管施設における放射線量測定結果の情報開示の継続	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	開示	開示	開示	開示	開示	実施	3点									
	実績累計(E)	実績累計(E)	実績累計(E)	実績累計(E)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
放射性物質濃度の分析調査結果の情報開示の継続	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	開示	開示	開示	開示	開示	実施	3点									
	実績累計(E)	実績累計(E)	実績累計(E)	実績累計(E)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	実績累計(E)	実績累計(E)	実績累計(E)	実績累計(E)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	実績累計(E)	実績累計(E)	実績累計(E)	実績累計(E)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	実績累計(E)	実績累計(E)	実績累計(E)	実績累計(E)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・今年度予定されていた取組内容については、計画通り実施しました。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・「汚泥保管施設における放射線量測定」及び「放射性物質濃度の分析調査」の結果について、お客さまに対して適切に情報を開示しました。 ・国による満願寺浄水場指定廃棄物の放射性物質濃度再測定について、その結果をお客さまに適切に情報を開示しました。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

	維持			
【方向性】	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点
年間内部研修実施時間 (延べ年間研修時間/ 年度末職員数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	7.9時間		42.5%	1点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点
	18.6時間/人	19.4時間/人	20.2時間/人	21.0時間/人	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-		-	1点	0点							
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)	
									0点							
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)	
									0点							
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)	
									0点							
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)	
									0点							

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、予算の範囲内で、必要な研修を実施しました。密を伴う施設見学や実技研修を中止したため、費用や作業量に対する実施効率は悪化しました。										
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	2点	D	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点	作業効率		0点/10点
	外的要因加点	0点	4点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、可能と判断した研修を実施しましたが、密を伴う施設見学や実技研修、イベント参加型研修などが中止となったため、十分な研修時間の確保はできませんでした。											
評価結果	達成度	1点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	1点	E	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点	進捗度		0点/10点
	外的要因加点	0点	2点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持			維持			維持			維持		
	経営審議会総評			経営審議会総評			経営審議会総評			経営審議会総評		
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、コロナ禍が長期化していることもあり、必要に応じて、多様な方法・手段により職員の資質向上のための各種取り組みの実施を検討すること。											

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VII	技術・知識を有する人材の確保と育成	事業・取組名	VII-2	諸外国との水道技術研究交流	所管課	総務課
----	-----	-------------------	--------	-------	---------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	我が国の水道事業は高度な技術のもと管理・運営されており、世界のトップランナーとして国際的にも高い評価を得ていることから、その技術・経験を国際貢献・国際協力に生かすことが期待されています。本市においても、水道技術の国際交流を通じた中で、国際的な視野と見識を持った人材の育成を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ○国際会議等への積極的な参加 <ul style="list-style-type: none"> ・日米台水道地震対策ワークショップへの参加 ・自治体水道国際展開プラットフォームへの参加 ○インターンシップの受入 <ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生のインターンシップ受入（新潟大学との連携） 	<ul style="list-style-type: none"> ○国際会議等への積極的な参加 <ul style="list-style-type: none"> ・水道技術国際シンポジウムへの参加 		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度					
	予算額 (a)	299,973		127,073									
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	0%		0%		#DIV/0!		#DIV/0!					
【時間・体制 (人員)】 時間 (人員) はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	9時間	6時間	66%	3時間								
	期間 (d) (作業従事職員数)	1人	1人		1人								
	単位あたりの作業量 (c/d) (1人あたりの年間作業時間)	9時間 (ア)	6時間 (イ)		(イ/ア)	3時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	○コロナ禍の影響により、実際に対面しての会議はありませんでしたが、代替開催されたWeb会議に参加し、先進都市の諸外国への貢献事例や課題、方向性等の情報収集を行いました。 ・自治体水道国際展開プラットフォームに2名Web参加（令和3年1月21日実施） ○外国人留学生のインターンシップは、コロナ禍に伴いWeb実施及び縮小実施となり、当局においての受け入れはありませんでした。（令和3年2月13日 成果発表会にはWeb参加）	○コロナ禍の影響により、実際に対面しての会議はありませんでしたが、代替開催されたWeb会議に参加し、先進都市の諸外国への貢献事例や課題、方向性等の情報収集を行いました。 ・日米台水道地震対策ワークショップ（中止） ・自治体水道国際展開プラットフォームに1名Web参加（令和4年1月12日実施） ○外国人留学生のインターンシップは、コロナ禍に伴いWeb実施及び縮小実施となり、当局においての受け入れはありませんでした。（令和4年3月2日 成果発表会には参加）														
		予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~		予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~		予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~		予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~
	自治体水道国際展開プラットフォームへの参加		1点													
	国際インターンシップの受け入れ			0点												
	平均 (A)	0.5点			平均 (A)	平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
国際研修等への 参加人数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	3人	1人	2人	2人	1人	33.0%	1点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-	1点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	-	-	-	-	-	-										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	-	-	-	-	-	-										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・コロナ禍のため、対面の会議が中止されるなど、制約もありましたが、Webによる自治体水道国際展開プラットフォームへの参加により、先進都市の諸外国への貢献事例等の最新情報を収集することができました。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・コロナ禍の影響により、会議の中止等がありましたが、参加した会議においては、報告内容や参加者間での意見交換を通して、国際的視野及び知識を持った人材の育成につなげていくことができました。											
評価結果	達成度	1点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	1点	E	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	2点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

	維持			
【方向性】	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施 策	VIII	環境に配慮した事業運営	事業・取組名	VIII-1	建設副産物の再利用促進	所管課	技術管理室
-----	------	-------------	--------	--------	-------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	建設副産物の再利用により、CO2排出量の削減や省エネルギー化を図り、環境保全への社会的責任を果たします。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○建設発生土の有効利用促進、リサイクル率向上の方策の検討 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続します。 ・建設発生土について、リサイクル率向上のための方策を検討し、現場内で掘削土を改良する機械の開発や高pH対策などのフィールド提供を行い、新技術の開発を促進します。	○建設発生土の有効利用促進、リサイクル率向上の方策の検討 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続します。 ・建設発生土について、リサイクル率向上のための方策を検討し、現場内で掘削土を改良する機械の開発や高pH対策などのフィールド提供を行い、新技術の開発を促進します。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			0								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-						#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	10時間	10時間	100%	10時間								
	期間 (d) (従事職員数)	2人	2人		2人								
	単位あたりの 作業量 (c/d) (1人あたりの実働時間)	5時間	5時間		5時間								
	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度					
	・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。(再生率100%) ・平成30年度より、建設副産物に関する集計機関が変更されたことにより、土質改良による発生土のリサイクル率抽出について従前の方法(改良土採用工事の発生土量における採用率)では算出できなくなったことから再生率については、全工事における発生土の土質改良の割合となる。(再生率1.6%) ・建設発生土については、最終処分を必要とする発生土が少なかったこともあり、改良土を含む有効利用率は96.2%となった。 ・建設副産物全体のリサイクル率は97.2%と高い達成率となった。	・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材及びコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。(再生率100%) ・建設発生土については、最終処分を必要とする発生土が少なかったこともあり、改良土を含む有効利用率は99.6%となった。 ・建設副産物全体のリサイクル率は99.7%と昨年度より更に高い達成率となった。														
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	建設発生土の有効利用 の促進	2点														
	平均 (A)	2点			平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)					

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
建設副産物の リサイクル率	85%	85%	85%	85%	99.7%	117.3%	5点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-	5点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・改良土については対象の工事が限定され、改良プラントの閉鎖等の関係からも今後利用率が更に減少していくと思われる。しかし、平成30年度に再資源化対象項目の改訂により、全体のリサイクル率は高い水準で推移していくと推測される。											
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	B	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・アスファルト廃材とコンクリート廃材は100%再利用しており、引き続き完全なリサイクルとなるよう促進していかなければならない。また、建設発生土に関しては有効利用及び集計の適正化を図ることで昨年度より更にリサイクル率が上昇した。											
評価結果	達成度	5点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	5点	A	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	10点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

	維持			
【方向性】	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VIII	環境に配慮した事業運営	事業・取組名	VIII-2	水道局環境計画の策定と推進	所管課	経営管理課
----	------	-------------	--------	--------	---------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	水道局として環境負荷の少ない水作りを推進するため、環境負荷低減に向けた取り組みを推進していきます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ○再生可能エネルギー等の有効利用 <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に併せ、再生可能エネルギー等の有効活用を検討。 ○環境報告書の作成・公表 <ul style="list-style-type: none"> ・環境報告書の作成および公表を実施します。 ○省エネルギー対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に併せ省エネルギー型の施設・設備に切り替えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○再生可能エネルギー等の有効利用 <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に併せ、再生可能エネルギー等の有効活用を検討。 ○環境報告書の作成・公表 <ul style="list-style-type: none"> ・環境報告書の作成および公表を実施します。 ○省エネルギー対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に併せ省エネルギー型の施設・設備に切り替えます。 		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予算額 (a)	0			0								
	執行額 (b)	0											
	執行率 (%) (b) / (a)	-			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量 (c) (実働時間)	24時間	24時間	100%	24時間								
	期間 (d) (従事職員数)	1人	1人		1人								
	単位あたりの 作業量 (c/d) (1人あたりの実働時間)	24時間 (ア)	24時間 (イ)		24時間 (イ/ア)	24時間 (ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和2年度実績	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	・環境報告書を作成し、ホームページ等に公表するなど、環境施策の情報提供を行いました。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境報告書を作成し、ホームページ等に公表するなど、環境施策の情報提供を行いました。 ・市環境部の提案による民間事業者との再生可能エネルギーの地産地消に係る協定に基づき、満願寺浄水場に電力供給する第三者保有モデル（P P A）による太陽光発電設備を設置しました。 											
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	
	・水道局環境計画の運用		1点										
	・環境報告書の作成・公表		1点										
	・省エネルギー対策の推進		1点										
	平均 (A)	1.0点			平均 (A)			平均 (A)			平均 (A)		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標				令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
環境報告書の 作成・公表	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	作成・公表	作成・公表	作成・公表	作成・公表	作成・公表	実施	3点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-	3点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	-	-	-										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	-	-	-	-	-	-										
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点									
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)										
	-	-	-	-	-	-										

■ 評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・環境計画の運用や環境報告書の作成・公表を予定通り実施しました。 ・事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。											
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・環境報告書の策定、公表を行い、環境施策と効果について市民に情報提供を行いました。 ・進捗度は事業の性質上評価ができませんでした。											
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点	外的要因加点		0点/10点

④ 2次評価結果

【方向性】	維持	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	経営審議会総評				
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。				